

令和4年度（2022年度）社会福祉振興助成事業(WAM 通常助成)



実績報告書

0～2歳児と親の笑顔・支援力を豊かに推進するネットワーク強化事業

ワークショップ 30 か所

- 船橋市塚田児童ホーム 5月10日(火)
大沢愛さん「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」
- 栄町 キッズ・ランド 8月26日(金)
大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」
- 佐倉市志津児童センター 9月8日(木)
歌子さん びんたろーさん「歌さんの笑顔のコンサート」
- 佐倉市南部児童センター 9月8日(木)
川中美樹さん「わらべうたであ・そ・ぼ」
- 成田市三里塚なかよしひろば 9月9日(金)
歌子さん びんたろーさん「歌さんの笑顔のコンサート」
- 野田市野田北コミュニティーセンター 9月13日(水)
歌子さん びんたろーさん「歌さんの笑顔のコンサート」
- 佐倉市老幼の館 9月16日(金)
大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」
- 八千代市すてっぷ21大和田 9月20日(火)
安西真幸さん「おやこでいっしょにダンスあそび」
- 習志野市こどもセンター 9月22日(木)
大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」
- 白井市桜台児童館 9月27日(火)
安西真幸さん「おやこでいっしょにダンスあそび」
- 富里市ひよし台保育園 10月3日(月)
安西真幸さん「おやこでいっしょにダンスあそび」
- 印西市そうふけつどいの広場 10月4日(火)
納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」
- 成田市公津の杜なかよしひろば 10月5日(水)
納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」
- 印西市ふれあい文化館 10月5日(水)
歌子さん びんたろーさん「歌さんの笑顔のコンサート」
- 市原市辰巳保育所 10月6日(木)
納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」

- 千葉市いろは保育園 10月7日(金)
納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」
- 袖ヶ浦市平岡公民館 10月11日(火)
納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」
- 佐倉市臼井老幼の館 10月13日(木)
納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」
- 市川市妙典保育園地域子育て支援センター 10月14日(金)
歌子さん びんたろーさん「歌さんの笑顔のコンサート」
- 成田市子ども館なかよしひろば 10月26日(水)
歌子さん びんたろーさん「歌さんの笑顔のコンサート」
- 市原市鶴舞保育所 10月27日(木)
大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」
- 八千代市社会福祉協議会 11月4日(金)
歌子さん びんたろーさん「歌さんの笑顔のコンサート」
- 香取市子育て支援センター「にこにこ」11月8日(火)
浅野佳砂音さん 中ムラサト子さん「フィーリングパフォーマンス」
- 佐倉市北志津児童センター 11月9日(水)
浅野佳砂音さん 中ムラサト子さん「フィーリングパフォーマンス」
- 鎌ヶ谷市栗野児童センター 11月10日(木)
大沢愛さん「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」
- 市原市牛久認定こども園 11月22日(火)
歌子さん びんたろーさん「歌さんの笑顔のコンサート」
- 市原市里見保育所 11月29日(火)
安西真幸さん「おやこでいっしょにダンスあそび」
- 松戸市おやこ DE ひろば小金原 12月16日(金)
大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」
- 市原市馬立保育所 1月12日(木)
大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」
- 四街道市ちよだっころームもねの里 1月21日(土)
大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」

支援力向上講座 5 か所

- 四街道市さつき幼稚園 8月8日(月)
川中美樹さん 「生きる力を育むわらべうた講座」
- 市川市八幡親子つどいの広場 10月4日(火)
納富俊郎さん 祥子さん
支援者のための講座「紙コップびよ～ん人形」
- 八千代市子育て支援センターすてっぷ21大和田 10月6日(木)
納富俊郎さん 祥子さん
支援者のための講座「紙コップびよ～ん人形」
- 千葉市いろは保育園 10月7日(金)
納富俊郎さん 祥子さん
支援者のための講座「紙コップびよ～ん人形」
- 佐倉市南部児童センター（佐倉市5施設合同）
10月24日(月)
川中美樹さん 「生きる力を育むわらべうた講座」



ごあいさつ

この事業で最終的に実現しようとした目的は、「子育て支援を担う市町村行政との連携」と「プロによる芸術的なプログラムが、人格形成の芽や非認知能力を育む0歳～2歳児と、親子の愛着形成・親への癒しや安心といった子育て支援として有効であることと」を実感的に認識し、「市町村の子育て支援施策に反映し、財政を伴って継続して実施できるようにする」ことです。

子育て支援は市町村行政の施策として重要な施策の柱となっています。県内54市町村では虐待の未然防止や対応を意識し、切れ目のない支援、0歳～2歳児とその親支援を手厚くしています。3年前、NPOである私どもにも「乳幼児と親支援を担わせて頂きたい」「市町村でやっておられる子育て施策に協力したい」という素朴な願いと、強い動機を持って始めた事業です。

プロによる芸術的なワークショッププログラムや、支援者の支援力向上講座のプログラムを提案し、3年間の継続実施により、「子育てが楽しい町」へ、「子育て支援は量から質へ」と、今後への明確な支援の方向性を、連携した市町村行政、支援施設、NPO等市民と共有することができました。当初の想定以上の子育て支援の着目点の拡がりや成果に驚いています。

令和4年度もコロナ禍ではありましたが、どの施設でも当初よりも落ち着いて実施することができました。ワークショップを30か所で、支援力向上講座は5か所で実現できました。3年間で延べ43市2町57か所のワークの実施、支援力向上講座は延べ11市11か所に拡がりました。助成1年目の令和2年度、助成2年目の令和3年度の成果を引き継ぎ、課題は令和4年度の行動計画に落とし込み、課題解決を図りました。詳細な行動計画とPDCAの事業サイクルを意識して取り組みました。

親子が笑顔になる瞬間を、保育士や施設スタッフ、行政職員が参加して、観て感じた、そのリアルな実感が、ゆらがない支援の根拠となり、プロの芸術家によるプログラムが支援になるという確信と共感のネットが顕著に拡がりました。また、赤ちゃんの反応や表情と、驚くばかりの感性の豊かさが、支援の在り方を私たちに教えてくれました。令和4年度の新たな課題とした、我が町の子育て支援を我が町で担っていく、その町でのネットワークづくりも始まりました。

貴社会福祉振興助成事業(WAM 通常助成)から3年間に亘って助成をいただき、実現したい願いを丁寧に、じっくりと取り組むことができました。NPOとしての基盤も強化され、子育て支援における社会的課題に真正面から向き合い、今後に向けて宝物のような課題と展望が見えて参りました。コロナ感染拡大が始まった2020年から2022年の3年間の事業実施にあたり、貴団体の事業進捗の見守りの姿勢や、相談に対し温かく的確な対応とサポートに毎回励まされました。

3年間の助成により事業をさせていただいたことに、心より厚くお礼を申し上げます。

(特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター 理事長 宇野京子)

Contents

事業の目的 実施実績 成果と課題	2P～7P
成果報告会の報告 提言	8P～13P
ワークショップ・支援者向上講座アンケート分析	15P～23P
30か所のワークショップ・5か所の支援力向上講座報告	24P～57P



1 事業名：「0～2歳児と親の笑顔・支援力を豊かに推進するネットワーク強化」事業

2 事業概要と目的

- ①乳児を研究し尽くしたプロの芸術家により、あそび、わらべ歌、ダンス等のワークショップを30か所で行い、親子いっしょに笑顔で楽しむと共に、成長発達に添った日常生活に活かせるあそびのスキルを身につける。子育て支援施設、児童センター、保育園等で実施する
- ②親子を支援する施設の保育士や支援スタッフを対象に、芸術家の指導による支援力向上の講座を5か所で開き、親子へのかかわり方やあそびの専門性を高める。
- ③2か所の市町村で、0歳～2歳の子育て支援を豊かに実現するためのネットワークを新たに創り、行政とともに推進していく。

この事業で最終的に実現しようとした目的は「子育て支援を担う市町村行政との連携」と「プロによる芸術的なプログラムが、人格形成の芽や非認知能力を育む0歳～2歳児と、親子の愛着形成・親への癒しや安心といった子育て支援として有効であることを実感的に認識し」「市町村の子育て支援施策に反映し、財政を伴って継続して実施できるようにする」です。

3 対象

ワーク：0歳～2歳児その親・家族 講座：親子を支援する施設の保育士や支援スタッフ

4 実施期間

2022年4月～2023年3月

5 実施体制

■コア会議の開催 6回開催

コア会議メンバー7名：買場都明 滝口淳子 鈴木佳子 岡田泰子 椎名好子 大森智恵子 中村雪江

第1回：2022年4月20日(水)	10:00～12:00	場所：子ども劇場千葉県センター事務所
第2回：2022年5月30日(月)	10:00～12:00	場所：ZOOM オンライン
第3回：2022年11月30日(水)	19:00～21:00	場所：ZOOM オンライン
第4回：2022年12月26日(水)	14:00～16:00	場所：ZOOM オンライン
第5回：2023年2月20日(月)	9:00～10:00	場所：ZOOM オンライン
第6回：2023年3月24日(金)	13:30～16:30	場所：千葉市文化センター会議室1

■推進プロジェクト会議 3回 オンライン

推進プロジェクト会議メンバー 23名

佐野裕子 久留島太郎 小島久子 納富敏郎 大沢 愛 大森靖枝 安西真幸 宇野京子
岡田泰子 大森智恵子 買場都明 笠原直子 桑原信子 椎名好子 白鳥みゆき 鈴木佳子
滝口淳子 棚田純子 中川香子 中村幸恵 中村雪江 綿貫のぼら 大塚るい

第1回 2022年6月8日(水) 19:00～21:00 ZOOM オンライン
自己紹介 事業の目的 概要 めざすこと 意見交換や交流

第2回 2022年12月9日(金) 19:00～21:00 ZOOM オンライン
進捗報告 課題解決 意見交流 行政との連携について報告を受けて推進委員より

第3回 2023年3月1日(水) 19:00～21:00 ZOOM オンライン
WAM 事業成果報告会の報告とまとめ・今年度事業の成果と課題



(推進プロジェクト会議)



6 パフォーマー・講座講師及び作品提供

- ★人形劇団ののはな 納富敏郎・納富祥子：人形劇「にこにこげきじょう」と人形づくり講座
- ★うさぎの森企画 大森靖枝：表現あそび「なんだろな なんだろな？」
- ★表現教育研究所 大沢 愛：わらべうた「うたとおはなしのじかん」
- ★リーフ企画 歌子さん ぴんたろーさん：「歌子さんの笑顔のコンサート&楽器で音あそび」
- ★ダンスパフォーマー 安西真幸：体を動かしてダンス「おやこでいっしょにダンスあそび！」
- ★山の音楽舎 川中美樹：わらべうた「わらべうたであそぼ」と「豊かな遊びわらべうた」講座
- ★CAN 青芸 浅野佳砂音 中ムラサト子「手作り楽器で音あそび&フィーリングパフォーマンス」

7 ワーク実箇所 30 か所 参加者数 1,014 人

	実施施設	実施日時	パフォーマーとワーク名	参加数				
				乳 幼 児	保 護 者	施設職 員(保 育士)	行 政	合計
1	船橋市塚田児童ホーム	5月10日(火)	大沢愛さん「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」	15	15	5	1	36
2	栄町 キッズ・ランド	8月26日(金)	大森靖枝さん「なんだろな なんだ ろな？」	13	10	6	4	33
3	佐倉市志津児童センタ ー	9月8日(木)	歌子さん ぴんたろーさん「歌子さ んの笑顔のコンサート」&楽器で音 あそび	16	16	8	1	41
4	佐倉市南部児童センター	9月8日(木)	川中美樹さん：「わらべうたであ・そ ぼ」	17	16	10	2	45
5	成田市三里塚なかよし ひろば	9月9日(金)	歌子さん ぴんたろーさん「歌子さ んの笑顔のコンサート」&楽器で音 あそび	15	16	6	2	39
6	野田市野田北コミュニ ティーセンター	9月13日(水)	歌子さん ぴんたろーさん「歌子さ んの笑顔のコンサート」&楽器で音 あそび	6	6	3	0	15
7	佐倉市老幼の館	9月16日(金)	大森靖枝さん「なんだろな なんだ ろな？」	10	8	6	0	24
8	八千代市すてっぷ21大 和田	9月20日(火)	安西真幸さん「おやこでいっしょに ダンスあそび」	12	11	10	4	37
9	習志野市こどもセンター	9月22日(木)	大森靖枝さん「なんだろな なんだ ろな？」	11	10	3	3	27
10	白井市桜台児童館	9月27日(火)	安西真幸さん「おやこでいっしょに ダンスあそび」	18	18	4	0	40
11	富里市ひよし台保育園	10月3日(月)	安西真幸さん「おやこでいっしょに ダンスあそび」	34	0	13	0	47

12	印西市そうふけつどいの広場	10月4日(火)	納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」	24	20	2	5	51
13	成田市公津の杜なかよしひろば	10月5日(水)	納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」	20	20	4	1	45
14	印西市ふれあい文化館	10月5日(水)	歌子さん ぴんたろーさん「歌子さんの笑顔のコンサート」&楽器で音あそび	21	21	1	6	49
15	市原市辰巳保育所	10月6日(木)	納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」	23	23	8	1	55
16	千葉市いろは保育園	10月7日(金)	納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」	34	0	10	0	44
17	袖ヶ浦市平岡公民館	10月11日(火)	納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」	9	9	3	1	22
18	佐倉市臼井老幼の館	10月13日(木)	納富俊郎・祥子さん「にこにこげきじょう」	11	11	8	0	30
19	市川市妙典保育園地域子育て支援センター	10月14日(金)	歌子さん ぴんたろーさん「歌子さんの笑顔のコンサート」&楽器で音あそび	13	13	3	1	30
20	成田市子ども館なかよしひろば	10月26日(水)	歌子さん ぴんたろーさん「歌子さんの笑顔のコンサート」&楽器で音あそび	10	10	5	1	26
21	市原市鶴舞保育所	10月27日(木)	大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」	13	12	7	0	32
22	八千代社会福祉協議会	11月4日(金)	歌子さん ぴんたろーさん「歌子さんの笑顔のコンサート」&楽器で音あそび	16	17	4	0	37
23	香取市子育て支援センター「にこにこ」	11月8日(火)	浅野佳砂音さん 中ムラサトコさん「手作り楽器で音あそび&フィリングパフォーマンス」	16	15	2	0	33
24	佐倉市北志津児童センター	11月9日(水)	浅野佳砂音さん 中ムラサトコさん「手作り楽器で音あそび&フィリングパフォーマンス」	16	17	7	1	41
25	鎌ヶ谷市栗野児童センター	11月10日(木)	大沢愛さん「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」	13	14	2	3	32
26	市原市牛久認定こども園	11月22日(火)	歌子さん ぴんたろーさん「歌子さんの笑顔のコンサート」&楽器で音あそび	18	8	4	0	30
27	市原市里見保育所	11月29日(火)	安西真幸さん「おやかでいっしょにダンスあそび」	4	4	4	0	12
28	松戸市おやかDEひろば小金原	12月16日(金)	大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」	8	7	3	0	18
29	市原市馬立保育所	1月12日(木)	大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」	8	8	3	0	19
30	四街道市ちよだっころーもねの里	1月21日(土)	大森靖枝さん「なんだろな なんだろな？」	9	9	5	1	24
合 計				453	364	159	38	1,014

8 支援力向上講座 実施実績5か所 参加者数106人

	実施施設	実施日	講師と講座内容	受講生参加数	行政参加数	計
1	四街道市さつき幼稚園	8月8日(月)	川中美樹さん「生きる力を育むわらべうた講座」	10	0	10
2	市川市八幡親つどいの広場	10月4日(火)	納富俊郎さん 祥子さん 支援者のための講座「紙コップびよ〜ん人形」	8	2	10
3	八千代市すてっぷ21大和田	10月6日(木)	納富俊郎さん 祥子さん 支援者のための講座「紙コップびよ〜ん人形」	13	1	14
4	千葉市いろは保育園	10月7日(金)	納富俊郎さん 祥子さん 支援者のための講座「紙コップびよ〜ん人形」	33	0	33
5	佐倉市南部児童センター(佐倉市5施設合同)	10月24日(月)	川中美樹さん「生きる力を育むわらべうた講座」	36	3	39
合 計				100	6	106

9 WAM事業 3年間の参加数

■ワーク

	実施個所数	乳幼児参加数	保護者参加数	施設職員参加数	行政職員参加数
2020年度	10市 10か所	102	84	41	6
2021年度	16市1町 17か所	225	135	94	16
2022年度	17市1町 30か所	453	364	159	38
合計	延べ43市2町57か所	780	583	294	60

	地域スタッフ ボランティア	パフォーマー	コーディネーター	スタッフ (理事)	総合計
2020年度	13	14	20	5	285
2021年度	12	31	34	3	550
2022年度	30	45	60	22	1,171
合計	55	90	114	30	2,006

※2020年度⇒10市10か所 233人（乳幼児102 保護者84 施設職員41 行政6）

52人（地域ボランティア13 パフォーマー14 コーディネーター他25）

※2021年度⇒15市17か所 470人（乳幼児225 保護者135 施設職員94 行政16）

80人（地域ボランティア12 パフォーマー31 コーディネーター他37）

※2022年度⇒17市1町30か所 1,014人（乳幼児453 保護者364 施設職員159 行政38）

157人（地域ボランティア30 パフォーマー45 コーディネーター他82）

■講座

	実施個所数	受講生参加数	行政職員参加数	講師	コーディネーター +スタッフ	総合計
2021年度	6市 6か所	94	7	7	14	122
2022年度	5市 5か所	100	6	8	15	129
合計	延べ11市11か所	194	13	15	29	251

※2021年度⇒6市 6か所 122人（受講生94 行政7 講師7 コーディネーター他14）

※2022年度⇒5市 5か所 129人（受講生100 行政6 講師8 コーディネーター他15）

10 令和4年度 行政との連携強化のための目標設定と成果

●主にめざした行政との連携強化の成果

①「子育て支援を担う市町村行政との連携」

この事業の理念は「子育て支援を担う市町村行政との連携」であり「人格形成の芽や非認知能力を育む0歳～2歳児に特化し、親子の愛着形成・親への癒しや安心といった子育て支援であること」「市町村の子育て支援施策に反映し、財政を伴って継続して実施できるようにする」です。

行政の共感と理解を得て実施できたこと、その実施の効果が伝わり、実施したい市町村や施設が、年度を経過する度に拡がりました。市町村の子育て支援施策に反映し、財政を伴って実施しようという方向性を持った自治体が数市あり、(鎌ヶ谷市 佐倉市) 他検討している市もあります。

②プロの芸術的なプログラムが0歳～2歳児の非認知能力の獲得、親への癒しや安心への効果の実証

アンケート分析でも示されたように、このワークで保護者自身が幸せ感を持ち、また、親子が笑顔になる瞬間を、保育士や施設スタッフ、行政職員が参加して、観て感じた、そのリアルな実感が、ゆるがない支援の拡がりとなりました。3年前にはじめた時に「赤ちゃんが本当に観られるのか？」という疑問は、0歳～2歳児の人格形成の芽や非認知能力の基礎の育成、親子の愛着形成・親への癒しや安心感の醸成の効果を実感することで、ワークを重ねる度に払拭され、芸術によるプログラムが支援になるという確信と共感のネットが顕著に拡がりました。

③地域子育て支援の質の向上。量から質へ

保育士や子育て支援スタッフが、学んだプログラムやスキルを、保育の現場で実践でき、スキルアップが図られ、支援の質が高まりました。支援者が学び交流する機会を整え、乳幼児を持つ親子の支援との両輪で行わなければ、豊かな支援にならないことを教えてくれています。子育て支援も量から質へと変革が求められているという意識が強くなりました。

④特筆すべき成果：新しく行政と民間でネットワークづくり 官民による新たな連携

新しく行政と民間とで、事業継続を可能にするための、ネットワークづくりのチャレンジが始まっています。その町の子育てを、その町にいる人たちが応援し担っていく仕組み作りです。その市にあった多様なモデルをつくりながら、3年間で実施した市や町、また実施していない市町村にも広げ、県内に波及していきます。

今現在は、佐倉市、市原市で動きが始まっています。「0歳～2歳児への的を絞った支援である」ことが、行政・指定管理者等・NPOの揺らがない共通項になっています。ぜひ事業を継続していきたいという思いが実施した行政職員の方々や施設のスタッフにあります。財政確保についても一緒に知恵を出し工夫をしようと、官民との連携が始まりました。鎌ヶ谷市、佐倉市で財源が確保され、八千代市、印西市、成田市、市川市、四街道市などでも、話し合いの場を検討しています。

■市町村でのネットワーク会議実績

佐倉市：佐倉市子ども支援部子ども政策課 子ども支援部子ども保育課 佐倉市 5か所のワーク実施施設関係者 佐倉市内NPO 子ども劇場千葉県センター 15名

第1回：2022年12月15日 第2回：2023年1月24日 第3回：2023年3月8日

市原市：市原市子ども未来部子ども福祉課 子ども未来部子ども福祉課 市原市社会福祉協議会 子ども劇場千葉県センター 6名 第1回：2023年2月6日 次回4月

● 4つ柱立ての目的と成果

柱立て1 0歳～2歳児を持つ親が、あそびのスキルを身につけて、家庭での日常生活に活かし、笑顔で毎日を過ごす一助になる。

柱立て2 一緒にあそびながら、乳幼児の行動や著しい成長発達を知ったり感じたりすることが、親としての喜びになり、子育てを前向きに楽しめるようになる。

成果：実績 アンケート結果から 保護者アンケート 348枚(回収率95%) 施設職員 151枚(回収率95%) 行政職員アンケート 14枚(回収率71%) 当日記録・ヒアリングからつかむ

令和4年度は17市1町30施設1,014人にワークを届けることができました。楽しかった等満足度は90%で、芸術家の力と芸術的プログラムの有効性がすばらしく高く、親子をあつという間にひきつけ、そのメッセージに親が癒され笑顔になりました。楽しい・うれしい・子どもがかわいいといった感情が醸成され、親の喜びに繋がりました。85%の保護者が親子でかかわる簡単なあそび、ダンス、わらべうたを「家でやってみたい」と応えています。施設職員・行政職員からも保護者と同様の結果を得ました。乳幼児の親子への支援は、安心できる環境づくりが用意され、個々の会場に合わせて準備されることが肝要です。コーディネーターの想像力や判断力、現場対応力によって、最善の環境づくりがされたことも、参加者の満足度を高める大きな要因となりました。

柱立て3 親子を支援する施設の保育士や支援スタッフを対象に、芸術家の指導による支援力向上の講座で、親子へのかかわり方やあそびの専門性を高める。

成果：実績アンケート結果から 受講生・行政アンケート 99枚 当日記録・ヒアリングからつかむ

令和4年度は5市5か所、受講生は100人・行政から6人の参加でした。アンケート回収は93%、また参加したいは98%でした。乳幼児の親子の支援に関わる、支援施設等の職員・スタッフのニーズに合っていました。行政が開設する支援施設では、スタッフの研修会等が開かれてこなかった現状があります。積極的な学びの姿勢は講師を驚かせ、学びで得た子どもや親とのかかわり方、保育スキルの獲得で、スタッフのモチベーションが高まり、専門性が深まり、意欲的に支援にかかわるようになりました。学びの場の保障と継続が強く望まれています。

柱立て4 事業を継続し推進するためのネットワークの強化

「0～2歳の親子に対し、芸術プログラムを子育て支援に活用する」というこの事業の「肝」の豊かな継続を願い、行政と共に市内の支援施設・支援者をつなぎ、子育てを担う団体が協力して、その市にあったしくみやネットワークを創ることにチャレンジしました。すでにネットワーク会議が2市で始まり、財政を伴う支援内容も決まり、これからをモデルとして、県内に効果を拡げていきます。今後に向け、3年間で実施した17市1町で、実施していない市にも事業を継続し推進するためのネットワークづくりをしていきます。

11 今後への方向性と課題

- 1 3年間で実施した17市1町で、実施していない市にもあきらめず事業を継続し推進するためのネットワークづくりをしていく。ネットワークモデルを示しながら働きかけ、波及効果を狙う。
- 2 0歳～2歳児とその親への支援事業は、未実施の市町村への働きかけを続け、これからも理念を拡げ発展させ継続する。
- 3 緊張した23% あきた7%等の消極的な参加については、毎年課題としてあげられており、対応事例を蓄積し、マニュアル化し、子育て支援のスキルアップを図り、行政や子育て支援施設と共有しながら、今後の子育て支援の質の向上につなげていく。

事業名：「0～2歳児と親の笑顔・支援力を豊かに推進するネットワーク強化」事業



赤ちゃんがつなぐ子育て支援の輪

開催日時：2023年2月8日(水) 13:30～15:30 ZOOM オンライン

参加者：89人 主催：(特)子ども劇場千葉県センター

■進行 買場都明

■発表者：16名(敬称略)

☆子ども劇場千葉県センター 滝口淳子

☆実施施設長・所長 保育士

市原市辰巳保育園 園長 斎藤純子

印西市そうふけつどの広場 清島典子

香取市子育て支援センター「にこにこ」 菅生りか

八千代市子ども支援センターステップ21 大和田 白木裕子

☆パフォーマー

人形劇団ののはな 納富俊郎 リーフ企画 歌子さん

山の音楽舎 川中美樹

☆行政から

佐倉市子ども支援部子ども政策課 課長 上野裕子

市原市子ども未来部子ども福祉課 係長 山中 聡

鎌ヶ谷市健康福祉部子ども支援課 課長 今井崇徳

八千代市子ども部 部長 須藤泰子

☆推進プロジェクト

聖徳大学 聖徳大学大学院 兼任講師 佐野裕子

子ども劇場千葉県センター 中村雪江

☆地域ネットワークから

佐倉市 守田泰子 市原市 船山慶子

■参加者：89人

☆子ども劇場千葉県センター 滝口淳子

1 魔法使いのような芸術家や子どもを瞬時にとらえた作品群を、リアル感覚で楽しく豊かに報告しました。大沢愛さんのわらべうた／浅野佳砂音さんの言葉のないフィーリングあそび／歌子さんとびんたろうさんの癒しのコンサート／大森靖枝さんの「なんだろな？」身近な物を使った表現あそび／安西真幸さんのみんなでダンス／納富俊郎さん・祥子さんの人形劇と人形作り講座／川中美樹さんわらべうたとわらべうた講座

2 令和4年度はワークが17市1町、講座は5市5か所で実施し、3年間で延べ43市2町57か所で実現しました。乳幼児、保護者、施設職員、行政職員の参加数は、3年間で1,714人です。令和3年度から支援力向上講座を実施し、2年間で受講生と行政職員207人です。

3 令和4年度は、5つの目標を掲げました。令和4年度は「事業継続のためのネットワークづくり」が新たな目標として加わり、実施した2市から始まり、前向きな話し合いがすすんでいます。毎年の課題である、泣いたり緊張したりする親子の気持ちを受け止め、その対応も支援者やスタッフが丁寧にフォローして参りました。

★市原市辰巳保育所 斎藤純子

納富さんの人形劇ワークを実施しました。コロナ禍で行事が停止している中での実施で大変うれしかった。納富さん手作り人形のプレゼントがたくさんあり、ワークのはじまりのあいさつは、この人形をつかって楽しくできました。

アンケートからは、子どもたちが喜んでみていたのでうれしかった／納富さんの話術、歌、曲も素敵ですがプロで、子どもたちは目を輝かせてみていた／真似のできないプロの動きにくぎ付けだった／親子の時間はとても素敵だと思います。

職員がウレタン人形をつくってみました。ワークではとても参考になることや、保育の中で活用できるヒントが見つかり、職員が刺激を受けました。もし機会があれば、人形の扱い方、演技方 声の出し方も教えてほしいです。職員も学んでいくことが必要だと考えています。

地域の子どもたちも親子で参加できるようなワークを実施していきたい。この人形劇のような、親子が笑顔でつながることをやっていきたいと思っています。

★印西市そうふけつどの広場 清島典子

納富さんの人形劇ワークをしました。アンケートからは、とても楽しい内容でまた参加したい／かわいい人形に癒された／興味深く見ていた／全員がまた参加したい。／0歳児も楽しそうで自分も初めて見た。／人形が大好きになり、嫌いだったぬいぐるみも大好きに

実施日前日、子どもへの声かけの協力を、ご家庭にお願いました。「あしたは集いのひろばにいくんだよ～。いつもの自由あそびとはちょっと違うんだよ。ママと一緒に膝で人形劇をみるんだよ。」と。この声かけは当日良い効果をもたらしたと思います。

今、親は大変多忙ですが、子どものみならず親の心にも一粒の種が蒔けました。この親子のぬくもりが思い出になるとと思います。千葉県センターの熱い情熱とプロフェッショナルの力があってこそです。

退場時、ウレタン人形で楽しいお見送りをし、お互いの垣根を超えみんなで作り上げたワークになりました。このような支援としてのワークの継続を願っています。

★香取市子育て支援センター「にこにこ」菅生りか

かさねさんとサト子さんが、手作り楽器を奏でながら親子をむかえてくれました。円形の舞台上、青い布に赤いぐるぐる模様のパネルに囲まれ、これからどんなことがはじまるのかなあとワクワク ドキドキした感じでした。

言葉を発しないお2人に、子どもたちは最初きょとん？。だんだん2人のやり取りにくぎ付け。次は何がおきるかなあ、かさねさんたちの言葉のない動きを目で追いながら、かさねさんの後をついて歩いたり、言葉のない働きかけに体が反応したりと、引き込まれていきました。それを見ていた母親が笑顔になり、母親も興味深々でした。

言葉がなくても敏感に喜怒哀楽を感じていました。これから言葉を獲得する子どもたちにとって、セリフのないお芝居はとても魅力的です。

その後の、支援センターのエピソードです。ワークに参加していた子どもたちが、アイコンタクトをとりながら太鼓をたたき合い2人の太鼓による会話が続く。まさに、かさねさんの世界で、保育士もびっくりし感動しました。五感や非認知能力を身につけていく子どもたちへの貴重な体験、素晴らしい事業、広がることを祈っています。たくさん笑顔がありました。

★八千代市子ども支援センター すてっぷ 21 大和田 白木裕子

安西さんのダンスは興味深く楽しく参加しました。時間も40分でちょうどよく、最初緊張気味でしたがしだいに慣れ楽しんでいました。数人いた5か月の赤ちゃんもふれあいあそびに参加できました。また、アンケートでは、娘が大はしゃぎで家でもやってみたい／親も職員もワクワクした／安西さんがわかりやすく教えてくれて、温かい気持ちの言葉かけがうれしかった／と大好評でした。

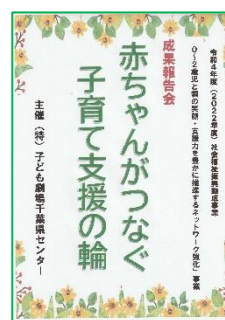
納富さんの講座は、スーパーの白い買い物袋一つで演じる「スーパー人形劇?!」を演じてくださいました。袋を縛ったり、絞ったり、結んだりすると、本当にいろいろな形や動物になることにびっくりしました。ユーモアのセンスも抜群です。ウレタン人形づくりも、身近な材料で短時間にでき、少し工夫をして、そこに大人がセリフを入れると生き物のように動きます。やってみたい!と思いました。人形に命を与える意味を実際に見て感じ、同じ素材でも個々に違う、その違いが個性だと。技術だけでなく人形を作ることが、命を与えることを知る機会になり、明日からの保育に生かせるものばかりでした。また参加したいです。

★パフォーマー 人形劇団ののはな 納富俊郎

ケンちゃんです。と登場。腹話術でかけあいであいさつ。千葉県センターの方々と乳幼児のための事業をいっしょにやっています。コロナの中、休むことなく続けておられ尊敬し感謝しています。

児童精神医学の医師、佐々木正美さんにお会いした際、「子どもの心は1歳半までに決まってしまう。遅くても3歳までに決まってしまうんだよ」というお話をききました。「子どもは自分を愛してくれた人、お母さん、お父さんを通じて、その人を信頼し、社会を信頼することに繋がっていくのですとも…」それから私は、小さい子たちへの人形劇を始めました。子ども笑顔や成長する姿を見て、子どもへの愛が深まれば良いと思ってやってきました。

幸せは家庭の中や地域から広がります。周りの大人は豊かになるとりくみを、大人も子どもも、もっと褒めあって、自尊感情が育つようにしたいですね。講座ではそうしたことをとても大事にしています。支援の質の高さが大事です。「子育てに楽しいまち」にしたいです。支援をしてもらうだけでなく、親の主体的な取り組みもしていけるようにすることが大事ですね。



★パフォーマー リーフ企画 歌子さん ぴんたろーさん

いろんなことを考え、ベイビーシアターをやり始めて芸風や考えが変わりました。ぴんたろーが特にかかりました。赤ちゃんによって変えられたのです。今日のタイトルもいいですね。「赤ちゃんが…」というフレーズがいいです。お話しするのが苦手なので、歌を歌います。みなさんどうぞいっしょに歌ってください。

♪寿(ことほぎ)ぎ踊れ 寿ぎうたえ ららいらりろ～あえい♪
♪寿ぎ踊れ 寿ぎうたえ ららいらりろ～あえい♪
ZOOM画面上で、寿歌(ほぎうた)を全員でうたい、優しい雰囲気にも包まれた。

この歌は、「生まれてきてくれてありがとう。生んでくれてありがとう。」と、子どもが生まれてきたことへの感謝の歌です。岸田さんが異次元の少子化対策を打ち出しました。内容はよくわかりませんが、子育て支援は今がチャンスです。この事業は子育て支援を行政と一緒にやってきて素晴らしいです。私も地元でやっていきたいと思っています。これからも一緒に頑張りましょう。

★パフォーマー 山の音楽舎 川中美樹

今日はたくさんの方々からの話を聞いて、歌子さんの歌を聴いて娘の子どもごろのころのことを思い出し、ジーンと涙がでてきました。2001年に納富さんがベイビシアターをはじめ、その頃は数人のアーティストでの寂しい活動でした。こんなにベイビシアターのことを熱く語り合える日がくるなんて想像していませんでした。今後の20年に向けてがんばっていきます。

すべての赤ちゃんが3か月に一度はベイビシアターを見ることが出来る社会の実現をめざして「日本ベイビシアターネットワーク」を立ち上げました。今日の取り組みをこのメンバーに熱く伝えたい・人を巻き込んでうねりにしていきたいと思います。

今年特に感動したこと2点 ①継続の力：さつき幼稚園でわらべうたを連続で3年続けました。先生方が意欲的でガチで出会う講座を取り組めました。「赤ちゃんはおいしい空気に包まれる。物理的にもあるが、声でおいしい空気に包まれる。」を先生方が体感したことです。②連続の取り組み：ワークと講座を連続して取り組むと、親子がこんなに笑顔で喜ぶことを見た先生方は、自分がわらべうたが好きではなくても、俄然やる気になり、講座での意欲の温度は、ワークを体感していると違うと感じたことです。

わらべうたは、「おらが村の子どもたちを、おらの村のみんな育てる」という構造の中にあつた遊び」ですので、このとりくみがその再構築の一歩として見えました。

★市原市子ども未来部子ども福祉課 係長 山中 聡

市原市で5か所実現できました。辰巳保育所の人形劇に参加しました。ワーク自体も楽しかったのですが、演者と子どもたちの間の呼吸、見えないコミュニケーションでしょうか。そうしたことを強く感じました。また終了後、演者と親子で人形を動かしたり、プロの技術とかも、ふれあいながらみせていただき、「プロは違う」という感じも持ちました。また、千葉県センターの方が、「ワーク」と言われるのは、双方向性を意識していると感じました。

実施した全箇所で大変好評です。子どもはもちろんの保育士、親のリフレッシュ 子どもの再発見で、地域のコミュニティの活性化の手段にもなっていると思っています。支援に芸術の手段が必要だという認識が、まだ行政には足りていません。

市原市では保育の量から質への課題をもっています。この事業は、質の向上というその観点での問題提起をいただいたと思います。効果を市原市でどう追っていくのか再整理していかなくてはいけないこと、長いスパンで効果を見ていくこと、子ども劇場さんと、いい形になるよう、話し合いながらすすめていきたいと思っています。

★佐倉市子ども支援部子ども政策課 課長 上野裕子

楽しくお話を伺いました。行政の立場でこの3年間、ワークや講座を佐倉市で実施していただき有難かったです。コーディネーターの方々が、親子があんなに笑顔になることを届けてくれ、いろんな配慮もあって、手間暇もかかることを丁寧につなげてくださりありがとうございます。

大森靖枝さんのワークと講座に参加してすごく楽しかった！ 大人の気持ちが解放される、正解を言わなくてはいけないとか、いい母親でなくてはということから解放され、緊張感が消え、心からワクワクして楽しみました。子ども大人も同じなんですよね。市内5か所のすべての児童センターで実施でき、指定管理者も参加することで、価値共有も大事にしました。現場での先生方のモチベーションが高まり、やる気が出て楽しい気持ちになりました。それは指定管理者にとってもうれしいことです。

行政がどうつなげていくのが課題です。継続していく話し合いが始まり、どうやったら続けてつなげていけるかの話し合いのベースが出来ました。それはうれしいことです。0歳児～2歳児への感性の豊かさ、支援の重要性の共有にも価値があります。千葉県センターの皆さまといっしょにすすめていきたいと思っています。

★鎌ヶ谷市健康福祉部子ども支援課 課長 今井崇徳

この事業を鎌ヶ谷市で実施いただいたことに感謝しています。コロナの中子育てを取り巻く環境は複雑化し、相談事案も増えております。

令和元年に納富さんの人形劇を観て、びっくりしました。子どもの反応や母親の笑顔が素晴らしくて、自分自身も感動しました。歌子さんのコンサートではプロの力を感じました。大沢愛さんのわらべうたでは、温かい時間で、年齢に合わせた内容でゆったりと触れ合うことができました。子どもたちは緊張する子もいれば、じっと見ている子どもといろいろで、緊張することもいいことなんだろうなと感じています。

鎌ヶ谷市では、市長はじめ、子育て支援は緊急的に取り組む事項としています。児童センターも現在5か所あり、あと1か所増やします。子育て支援をきめ細かくしていく方針で、千葉県の中で一番多く児童センター配置していると思います。

令和5年度は、財政当局と調整し財政を確保しました。子ども劇場さん、地域の方々とも協力しながらすすめていきます。国の「子ども子育て支援金」の補助金のことですが、集いのひろば事業に、国が三分の一 県が三分の一の制度があります。これに十分値すると思いますので、行政とも検討しながらすすめてみてください。

★八千代市子ども部 部長 須藤泰子

千葉県センターの熱いラブコールの中実現しました。安西さんのダンスあそびのワークと、納富さんの「紙コップぴよーん」の講座を実施できました。

親子といっしょに、また支援者同士もお互いを見合って、暖かい気持ちになりました。現場の保育士に元気と勇気を意欲に火をつけていただきました。

乳幼児期の頃から、プロのパフォーマーによるアートに出会うことは、乳幼児期のやわらかい感性への重要なはたらきかけだと考えております。親子が身近にアートに出会う千葉県センターの取り組みがとても重要です。

専門職、保育の質の向上については、プロから学びながら自分たちもどうあったらいいかが、八千代市でも課題として非常に話題になっています。ぜひ現場からのリクエストを挙げていただき、行政の私たちが民間とできることを討論したいと思います。いただいたデータもとても貴重です。数字でどういう成果があったのは、行政の中で重要です。一步一步、「子ども部門」「教育部門」いっしょに、アートに出会う体験を検討してまいります。

令和5年度はクローズしていた子育て支援現場もオープンになり元のように戻ります。今後も子どもたちを真ん中に支援の課題解決をして参ります。

★NPO 佐倉子どもステーション 守田泰子

市内5か所でワークと、1か所の講座にスタッフとして参加しました。千葉県センターが市内の5館の児童センターとつないでくれ、知り合えたことが、これからの大きな一歩になります。

今後の継続のために、行政、5館の児童センタースタッフと指定管理団体、千葉県センター、佐倉子どもステーション等15名で、これまでに2回、座談会を開くことができました。お互い主体的に意見を出し、今後の継続のために知恵を出し合い工夫をしようとする会です。この事業の目的や、0歳～2歳児への支援の重要性を意見交換しながら深めていき、指定管理者を含め参加者全員が、一番大事な理念を共有できました。

また、実施についてはお金が必要で、指定管理団体からクラウドファンディング 助成金申請などの案が出されています。佐倉子どもステーションでは助成金申請にチャレンジして受かりました。このネットワークの中で、市内の施設の子育て支援施設情報を知らせることも佐倉子どもステーションでできますし、様々つながりあうことができます。来年に向けて継続できるよう、NPOとして頑張ります。

★市原市社会福祉協議会 船山慶子

ずっと前から芸術家派遣事業で市原市と千葉県センターとかかわっています。社会福祉協議会の活動は社会からみえにくく、実は共生社会を目指して地域をつくっていかうとしています。支援する側と支援される側という関係ではなく、いろんな人がいろんな力を出し合い、お互いが共生する社会を目指しています。

この乳幼児の事業はまさに共生社会を創る事業です。赤ちゃんはどれだけ力があるか、赤ちゃんは自分で育つ権利があります。赤ちゃんが自分で育つために周りの大人や環境が必要で、それがプロの芸術家による質の高いプログラムであり、地域での支援者や保育の方たちの存在です。赤ちゃんは力があるからこそ、子どもは自分で育つ力があるからこそ、周りの大人がそれに追いつかなければいけません。

行政だけではできません。芸術家だけでもできません。一義的な責任は家庭にあります。赤ちゃんが生まれてきてくれたからこんなに感動体験があるということを経験も感じる事業であり、子育て家庭を暖かく見守る・赤ちゃんを大切にするという地域の意識を醸成する事業です。社会福祉協議会社協としても、行政といっしょにぜひ継続していきたい、との思いを強くしています。



推進プロジェクト・子ども劇場千葉県センター中村雪江による目標と成果の報告

3年間で目指した目標と成果

①「子育て支援を担う市町村行政との連携」

この事業の理念を、行政の共感と理解を得て実施できたこと、その実施の効果が伝わり、実施したい市町村や施設が、年度を経過する度に拡がり、3年間で延べ43市2町に及び、延べ57か所のワークの実施につながりました。具体的に市町村の子育て支援施策に反映し、財政を伴って実施しようという方向性を持った自治体が数市あり、他検討している市もあります。

②プロの芸術的なプログラムによる0歳～2歳児の人格形成の芽や非認知能力の基礎の育成、親子の愛着形成・親への癒しや安心感の醸成

アンケート分析でも示されたように、このワークで保護者自身が幸せ感を持ち、また、親子が笑顔になる瞬間を、保育士や施設スタッフ、行政職員が参加して、観て感じた、そのリアルな実感が、ゆらがない支援に拡がりました。3年前にはじめた時に「赤ちゃんが本当に観られるのか？」という疑問は、ワークを重ねる度に払拭され、芸術によるプログラムが支援になるという確信と共感のネットワークが顕著に拡がりました。

③地域子育て支援の質の向上

保育士や子育て支援スタッフが、学んだプログラムやスキルを、保育の現場で実践でき、スキルアップが図られ、支援の質が高まりました。支援者が学び交流する機会を整え、乳幼児を持つ親子の支援との両輪で行わなければ、豊かな支援にならないことを教えてくれています。

特筆すべき成果：新しく行政と民間でネットワークをつくる

新しく行政と民間とで、事業継続を可能にするための、ネットワークづくりのチャレンジが始まっています。その町の子育てを、その町にいる人たちが応援し担っていく仕組み作りです。

その市にあった多様なモデルをつくりながら、3年間で実施した市や町、また実施していない市町村にも広げ、県内に波及して参ります。

今現在は、佐倉市、市原市で動きが始まっています。ぜひ事業を継続していきたいという思いが実施した行政職員の方々や施設のスタッフにあります。財政確保についても一緒に知恵を出し工夫をしようと、ここでも官民との連携がはじまりました。八千代市、印西市、成田市、市川市、四街道市などでも、話し合いの場を検討しています。

■佐倉市…行政、実施施設、指定管理団体、NPO、千葉県センターで座談会を実施。3年間の成果や0～2歳とその親の支援の必要性を共有できた。また、今後ネットワークで連携して継続していくという合意形成がされた。

■市原市…市原市にある既存のネットワークを生かして仕組みづくりを考える

提言

本事業の3年間は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大という社会情勢の中、家庭に閉じこもりがちな親子に対して、地域でどのように子育てを支えるか、その支援のあり方の模索でもあった。

事業では、特に家庭で子育てを行っている低年齢児をもつ親の孤立感や緊張感、子育ての不安感等の解消と共に、子どもの健やかな発達をふまえて、プロの芸術家による「生の遊び体験」を実践し事業目標を達成した。加えて、地域の子育て支援者育成にも寄与し、子育て支援の質の向上も示唆された。

今、社会は新型コロナウイルスとの共存に向かっており、新たな転換期を迎えている。本事業の3年間の実績を基に、当事者性を活かしたより質の高い子育て支援を、県内各地に実現していくことの意義は大きい。

国は現在、妊娠・出産・子育て期の母親の切れ目のない支援を目指している。それには、地域の民間・NPO も含めた母子のサポートサービスとも連携を取り、家族にとって必要な支援が受けられるようにしていく必要があるといわれている¹⁾。

また、少子化対策の一環として社会全体で子どもの成長を支援するために、「こども家庭庁」が、本年度4月に発足し、地域の子育て支援の必要性が示されている²⁾。

国が大きく子育て支援施策に動き出した今、本事業を、各自治体の家庭と地域のニーズに即した、質の高い子育て支援事業として、位置づけていただくことを願いたい。

【文献】

1) 乳幼児子育て研究「日本版ネウボラ」導入への課題とは～第6回少子化社会と子育てより研究員の目～:2016年3月11日 掲載 ベネッセ教育総合研究所次世代育成研究室研究員持田聖子

<https://berd.benesse.jp/jisedai/topics/index2.php?id=4847>

2) こども政策の新たな推進体制に関する基本方針について令和3年12月21日閣議決定

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo_seisaku/pdf/kihon_housin.pdf

<成果報告会報告 文責：中村雪江>

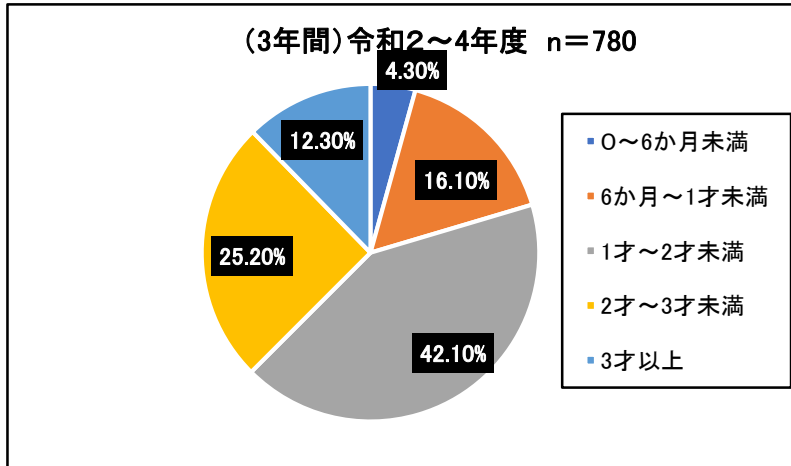
成果報告会 参加者アンケート

- ・3年間の積み重ねの凄さが感じられました。子ども中心の子育て支援、赤ちゃんは育つ権利があるなど、心に響く言葉が多く参考になりました。
- ・赤ちゃんの笑顔が、力になるというお話がありましたが、赤ちゃんの笑顔は、お母さんにとって、喜びであり、癒しであり、明日への活力につながると、パフォーマーのみなさんの実演をみて、とても思いました。
- ・様々な立場の方が、赤ちゃんへのプロによるワークの有効性について実感しているのが印象に残りました。今後施策として生かすにあたって、この実感の言語化が難しいと感じていましたが、結果分析も含めたこの成果報告会の結果は大変参考になります。
- ・事業の概要をご説明いただいた時から、活動の内容や、目的に関して共感を得ました。実際にプロによる芸術の力に触れ、親子が深く関わり、笑顔があふれる様子に感動しました。私たち保育士も芸術家の表情、声のかけ方、動き、活動内容、事前事後の細やかな配慮などを学ぶことができましたこと、感謝しております。
- ・たくさんの方の実践報告をお聞きして、この事業が県内に広がっていることを実感しました。初めてパフォーマーの方に来ていただいた時の感動を思い出しました。この感動を共有できる仲間が増えていることをとてもうれしく思います。職員が生き生きと活動している姿も見られました。施設内の雰囲気を変化していると感じています。

アンケートのデータと分析

■保護者アンケート 348人 データ

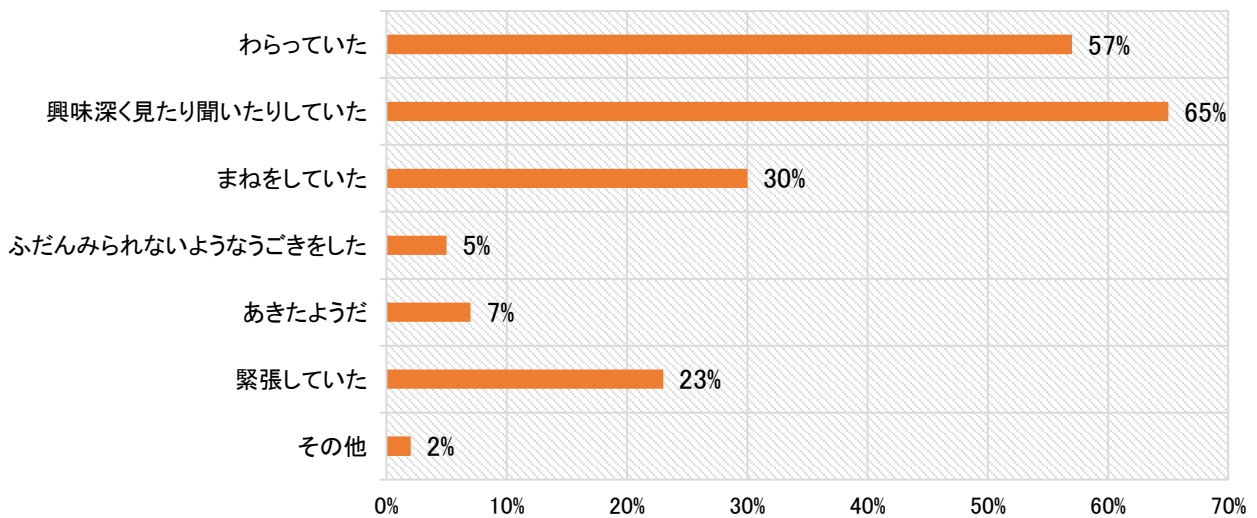
参加した子どもの年齢（3年間）



分析

参加した子どもの年齢（3年間）3年間の集計で、6か月から3歳未満が83%。歩行を開始し、自己主張が激しくなる1～2歳児は、67%で約7割です。この時期は、親が子育てに手を焼く時期であり、本事業が親のニーズに合致したと言える。

保護者が実感した子どもの表情（おさんの表情どうでしたか？）複数回答 3年間



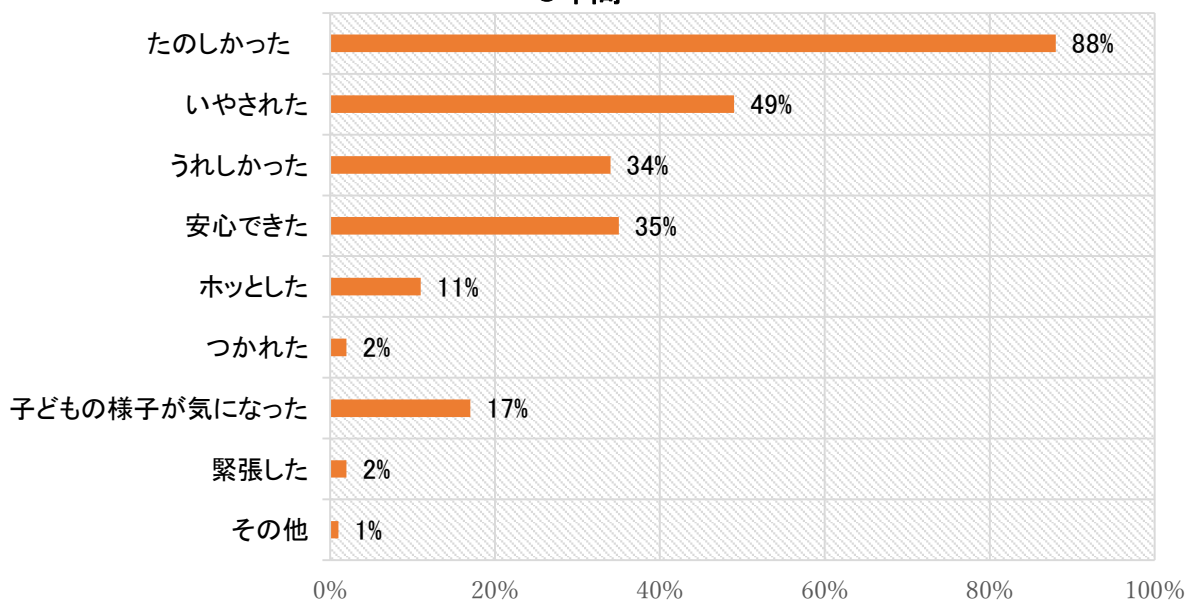
分析

- ① 笑っていた 57%⇒笑顔がこぼれ楽しさの実感が示された。
- ② 興味深く参加 65%・真似をしていた 30%・ふだんみられないようなうごきをした 5%⇒興味関心を高め、盛んに見取学習をし、積極的参加が見られた。

これは、本事業のプロの芸術的プログラムが、子どもの心を動かし、0歳～2歳児の人格形成の芽や、非認知能力の基礎を育むことにつながったことが推察される。

また、緊張した 23% あきた 7%等の消極的な参加については、毎年課題としてあげられており、支援スタッフが、親に対して丁寧に対応してきました。これらは課題として、対応事例を蓄積し、マニュアル化し、子育て支援のスキルアップを図っていくことが、今後の子育て支援の質の向上につながると考える。

お子さんと参加してどんな気持ちになりましたか？複数回答 3年間

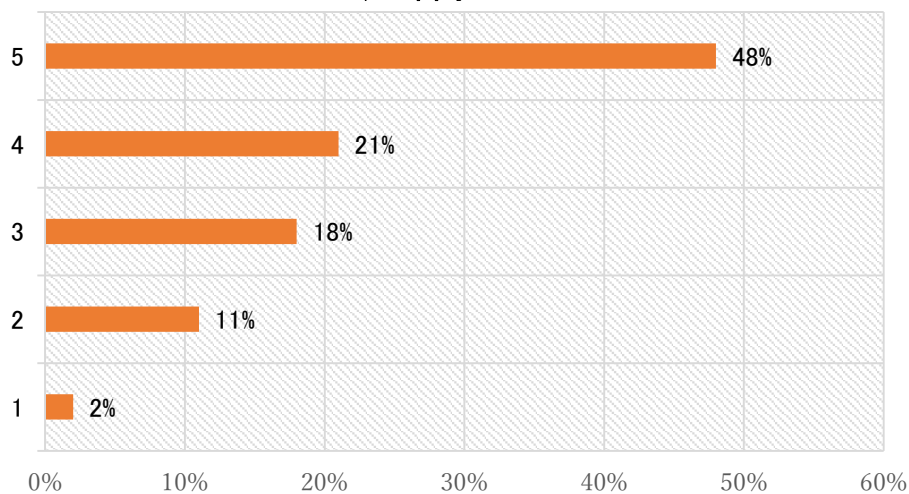


分析

- ① たのしかった 88%で9割、楽しさの実感が示された。
- ② 癒された 49% うれしかった 34% 安心した 35%、 ほっとした 11%と、保護者の心が和み、リラックスできた実感が示されている。

子育て中の親が不安や孤立感から解放されてリラックスでき、子育て中の親への癒しや安心感の醸成が示された。本事業の目的の1つが達成できた。つかれた 子どもの様子が気になった、緊張した等消極的な結果もありますが、先ほどと同様、今後の課題として参ります。

プログラムの参加割合(どのくらい参加できましたか?)3年間 n=561



<設問内容>

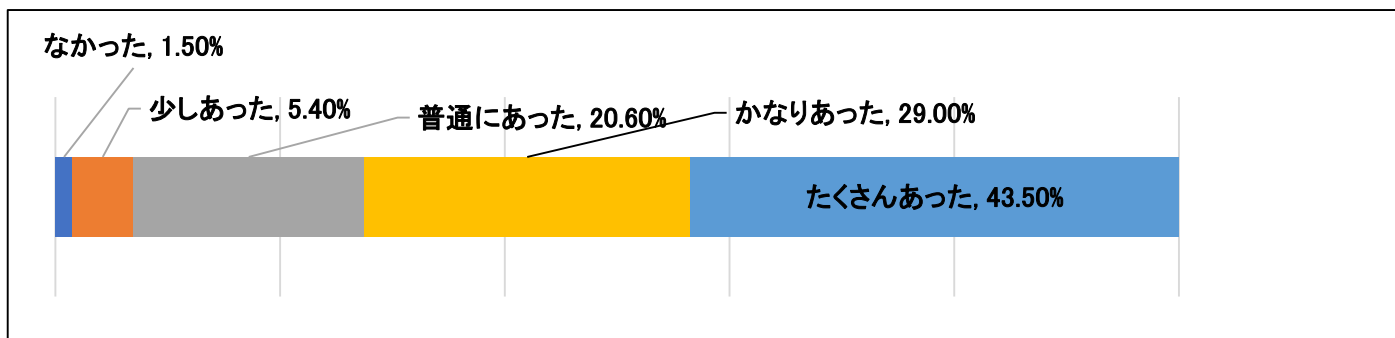
- 5 たくさん参加できた
- 4 かなり参加できた
- 3 普通に参加できた
- 2 少し参加できた
- 1 参加できなかった

分析

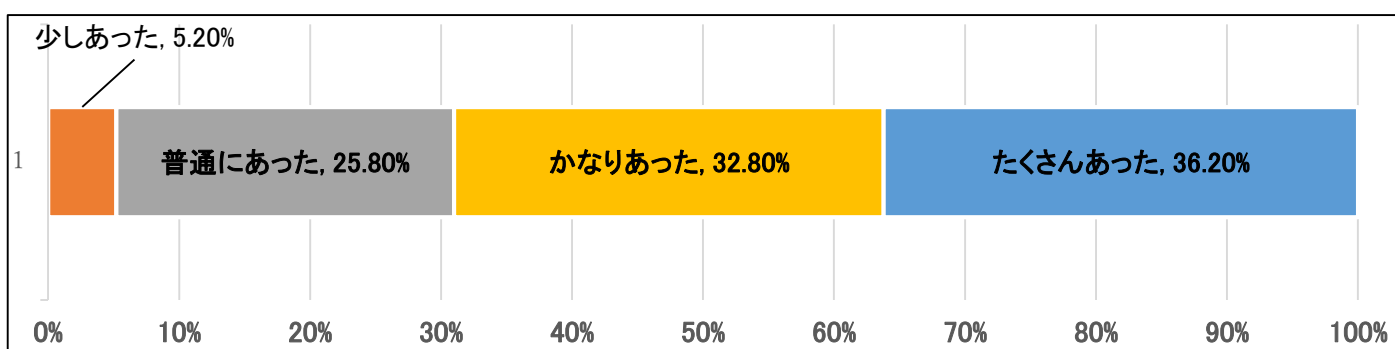
たくさん参加できた 48%、かなり参加できた 21%、普通に参加できた 18%と、参加できたが 93%。大多数が参加できたことが伺われる

遊びの家庭への経年変化（家に帰ってやってみたいと思うこと）

（令和3年度 n=131）



（令和4年度 n=348）



分析

令和3年度と令和4年度の経年変化です。令和3年度は「なかった」が1.5%ありましたが、令和4年度は0%で、全員が何かしら家に持ち帰ることができた。これはすごいことです。県内各地で実施した結果、参加者ほぼ全員から家庭への連続性が確認できたと言えます。親の遊びスキルの向上、親の子育て支援力の向上に寄与し、親子でふれあい遊ぶことで、親子の愛着形成の一助となることが推察された。もう1つの目的である「家庭での日常生活に活かし、笑顔で毎日を過ごす一助となる」も達成できた。

保護者アンケート

保護者の自由記述

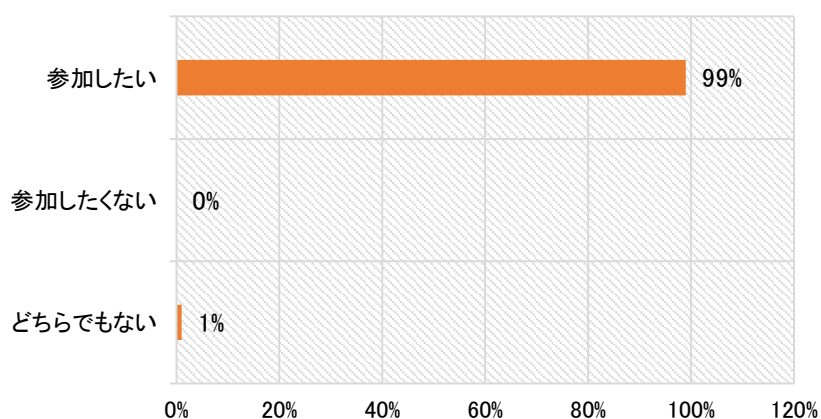
- ・初めての体験でとても楽しそう！ 5ヵ月でもたくさんの触れあひあそびができてとてもいい時間に。
- ・ちょっとしたアイデアで、こんなに楽しいことができる子ども以上に親がワクワク。また是非見たい。
- ・「子どもにとっても1番の歌手はお母さんとお父さん」が心に残った。しつこいくらい歌って育てたい。
- ・家にあるもので作れそうなおもちゃがたくさんあったので、家でも作って遊んでみようと思う。
- ・楽器がなくても体や声でお家でもできることもあるので、お家でもやってみたい。
- ・歌声から涙がじんわりして、お母さんたちの優しい声も合わさって感極まって、心が浄化される気がした。
- ・不覚にも泣いてしまった。とても幸せを感じる事ができた。早いかと思っただが、連れてきてよかった。
- ・子どもは最初から落ち着きなかったが、手紙に書いてあったこともあり、最後まで見る事ができた。
- ・すごく楽しめた。是非定期的に開催してほしい。
- ・とっても楽しかった！ そのひとことに尽きる！またぜひ来ててください！

保護者アンケート設問4で「子どもが緊張していた」を選んだ人の自由記術

- ・はじめこわがって会場に入れなかったが、だんだんと興味をもちはじめ、入ることができました。
- ・緊張していた様子だったが、子供が楽しめるように声かけてもらったりお土産はとても喜んでた。
- ・途中あきてしまいそうになっていたが、再び興味を持って見始めたので、工夫が沢山あって驚いた。
- ・緊張している様子もあったが、音楽に合わせて楽しそうにできてよかった。
- ・慣れるまでに時間がかかったが、その後の様子を見てるととても楽しかったんだと感じる。
- ・先生が子どもの様子を見ながらアイコンタクトをとってすすめてくれたのが、とても嬉しかった。
- ・とても楽しい時間。走り回り、声をあげ、邪魔になることをたくさんしてしまっ、先生や他のお子さんたちに申し訳なく、また参加したいが、もっと静かにできないと難しいかなと思った。
- ・たくさん泣いてしまってすみません。でもまた機会があれば参加させてもらいたい。
- ・小さい子も知っている曲なども、もう少しあると子どもも飽きずに最後まで楽しめたかなと思う。
- ・他のママさんとも触れあえるチャンスがあると良いと思った。

はじめの緊張が、楽しい音楽、人形のうごき、身体表現に興味をわいたり、名前を呼んでもらう声かけ、アイコンタクトなどで緊張がとけていった。子どもの緊張とは別に、保護者自身が「なかなかできない体験」「家でもやってみたい」「子どもをちがう空間に置くことの大切さへの気づき」など、楽しんだ記述が多数ある。

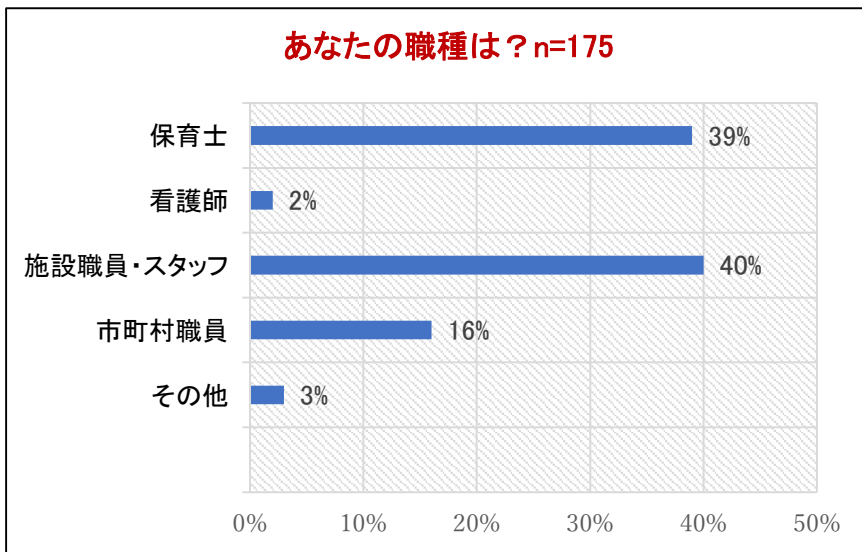
次回への参加意欲 3年間



分析

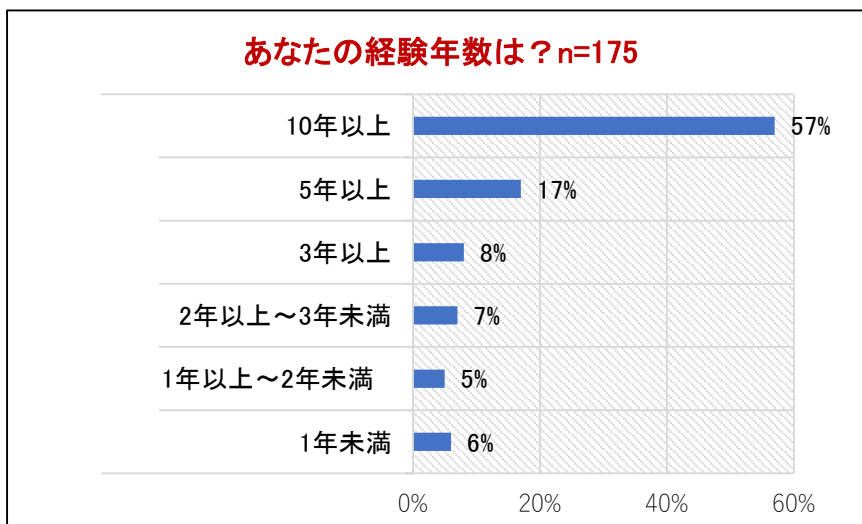
参加したい 99%。参加した大多数から次回も参加したいという意欲・期待が示された。

■支援施設スタッフ 行政職員アンケート 令和4年度 175 枚



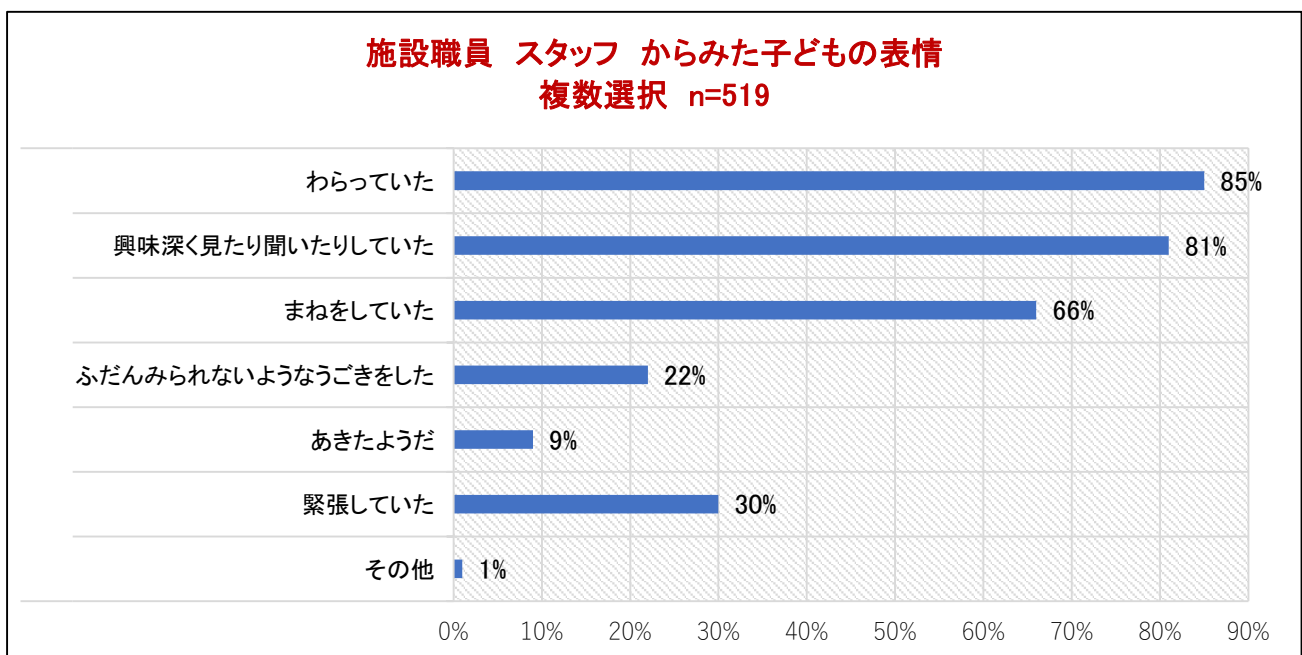
分析

保育士 39%、専門性をもった施設職員・スタッフ 40%、市町村行政職員の参加 16%。市町村職員の参加は、令和2年度 6 人、令和3年度 16 人、令和4年度 38 人と、この3年間で 6.3 倍になっている。事業の目的の一つである、「子育て支援を担う市町村行政との連携」が進展していることが伺える。



分析

経験年数は 5 年から 10 年が 74% で、ベテランの方が参加しておられ、子どもや親への支援の質の向上が図られたことが推測される。



分析

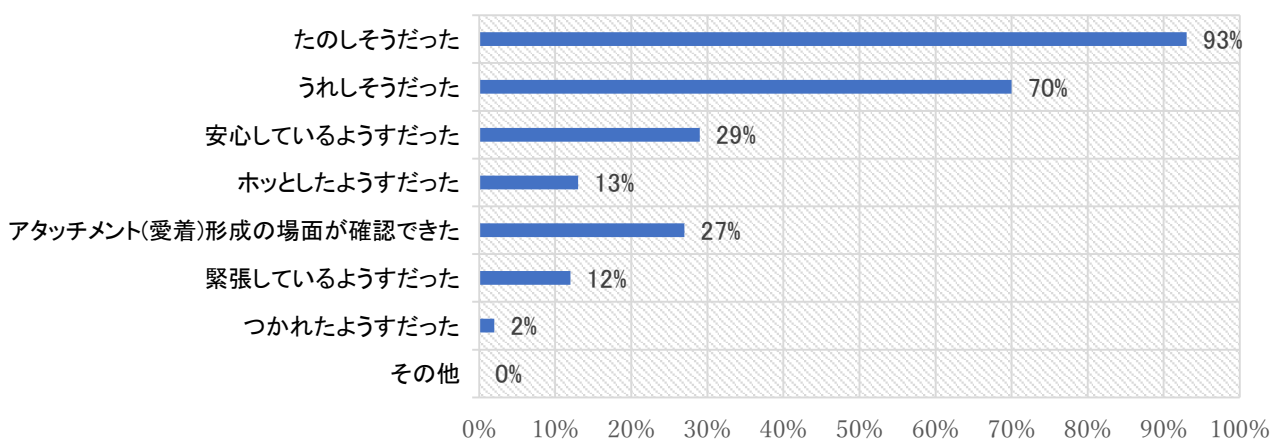
楽しさの実感として、笑っていた 85%で、多くの子どもに笑顔が見られた。興味深くみていた 81% 真似をしていた 66% ふだんみられないようなうごきをした 22%と、積極的な参加が認められた。

これは保護者が実感した子どもの表情と同じ設問ですが、子どもの表情に総じて高い割合が示された。回答いただいた施設職員、スタッフの、保育士の方々は、5年から10年の保育のベテランであり、客観的立場からみてもこの高い評価から、事業内容の質の高さが伺えます。

プロの芸術的なプログラムが、0歳～2歳児の人格形成の芽や非認知能力の基礎を育むことが示唆された。

緊張した、あきたようだ等、消極的な参加については「事例を施設職員、スタッフ、保育士と共有し、対策を蓄積し、マニュアル化して支援のスキルアップを図っていくことが地域の子育て支援の質の向上につながる」と思う。

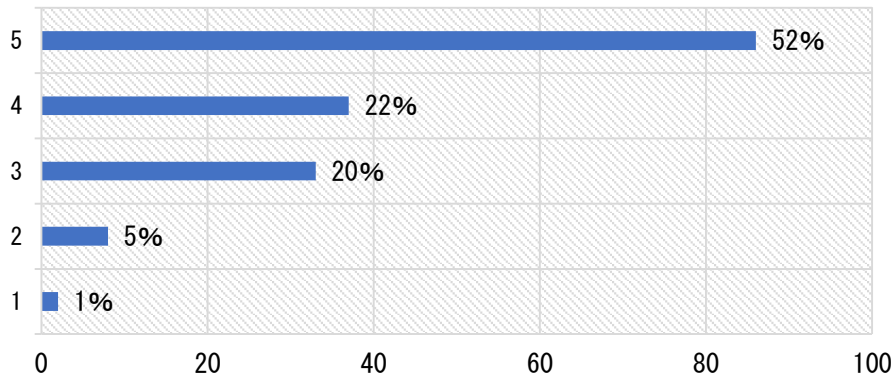
施設スタッフから見た 親子のかかわり 複数選択 n=567



分析

楽しそうだった 93%と、多くのスタッフが親子の姿を捉えています。また、うれしそうだった、安心していった、ほッとしたようだった、と、心がなごみリラックスした様子が示されました。また、アタッチメントの場が確認できたが 30%と、目標の1つである、「親子への癒しや安心感、愛着形成の醸成」が示唆された。子どもの様子が気になる、緊張していたようだ 疲れたようだった等消極的な参加については、今後の課題として先ほどの課題と同様、地域の子育て支援の質の向上につながるよう検討していく必要がある。

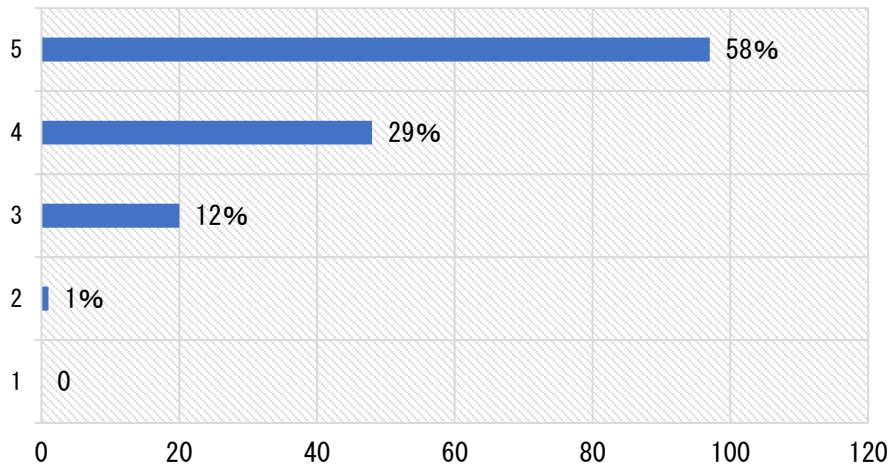
どのくらい参加できましたか？令和4年度 n = 175



<設問内容>

5 たくさん参加できた 52%
 4 かなり参加できた 22%
 3 普通に参加できた 20%
 94%が参加できたと回答
 2 少し参加できた 5%、
 1 参加できなかった 1%は、
 別の仕事があり、十分な参加ができなかったことが理由。

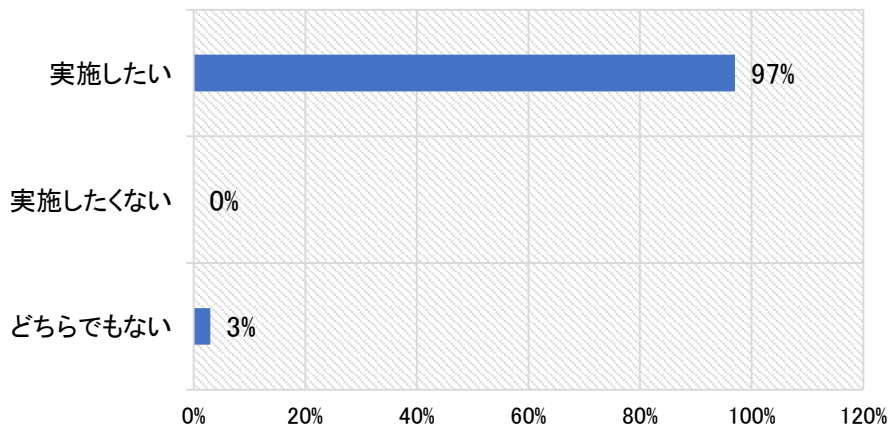
プログラムの中でやってみたいものはありましたか？ 令和4年度 n=175



やってみたいプログラムがたくさんあった
 かなりあった、普通にあって99%。

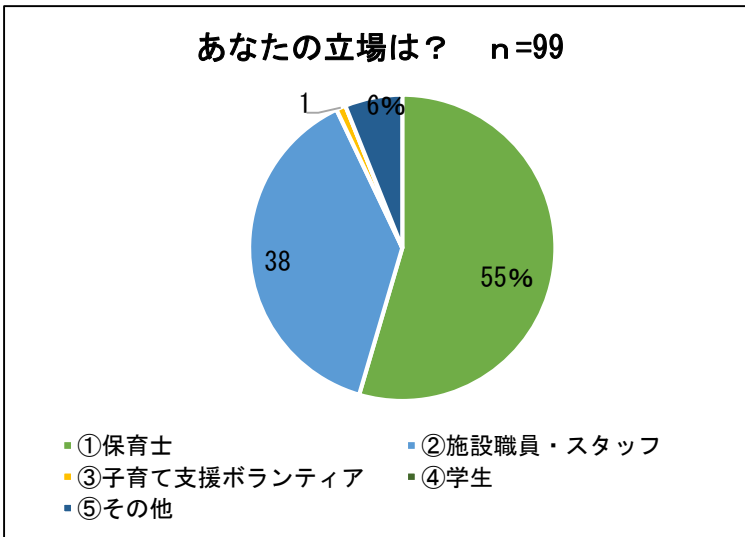
支援施設に持ち帰り、実践できるものがたくさんあり、支援者のモチベーションがあがった。

また実施したいですか？ 令和4年度

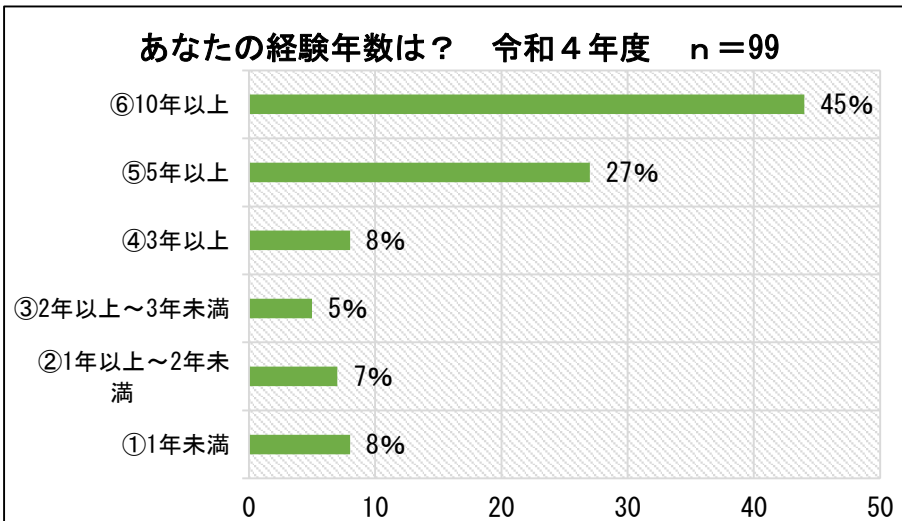


実施したい 97%
 どちらでもない 3%

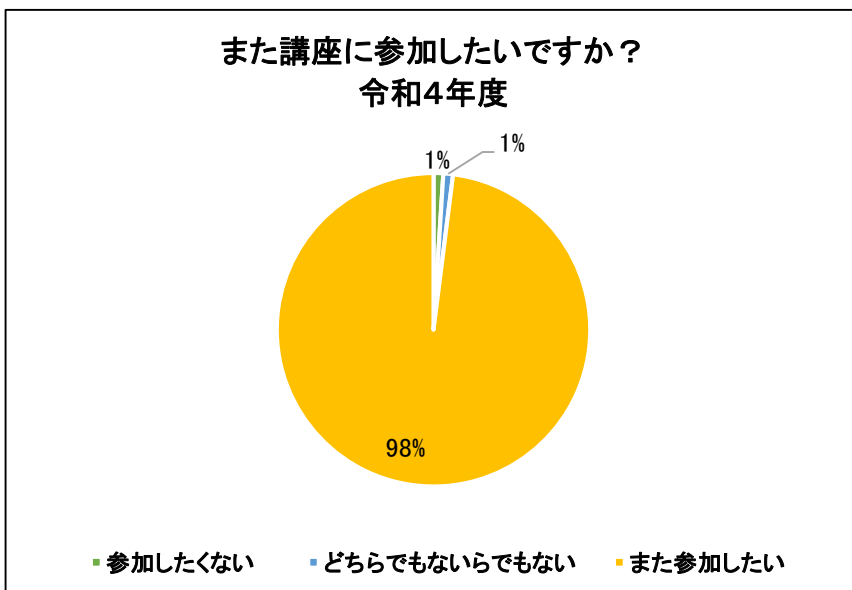
■ 支援力向上講座アンケート 99 枚



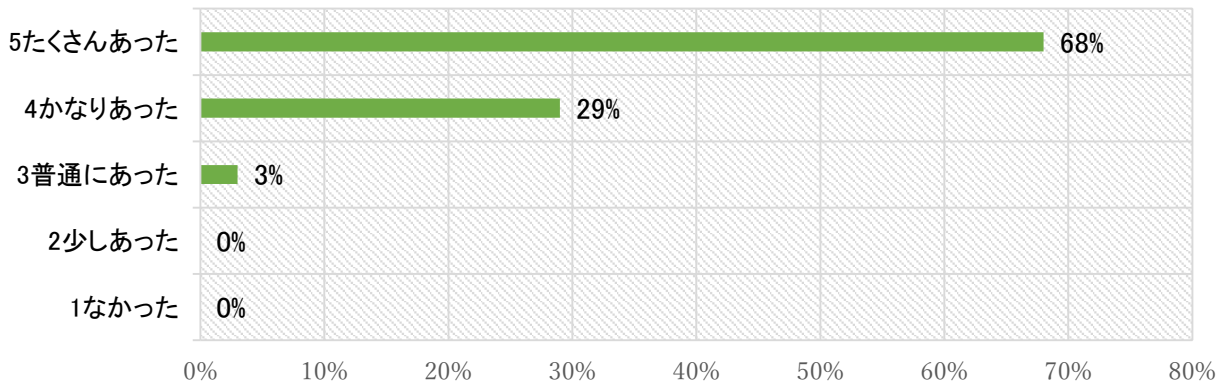
分析
93%が保育士と施設職員、スタッフ。地域の子育て支援に関わっている方々で、地域における支援力が高まっていくことが期待される。



5年から10年の経験年数のある参加者が72%。
1年から3年の経験年数の参加者は28%。



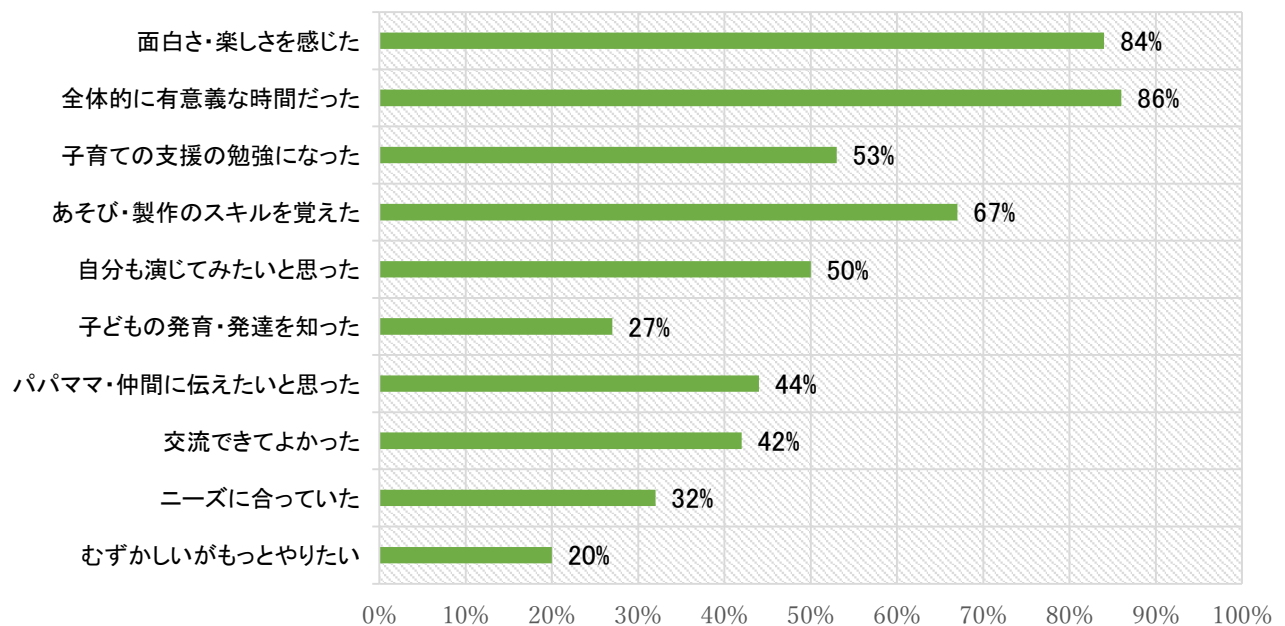
これからやってみたいもの・子育て支援の現場で活用 令和4年度



分析

たくさんあった 68% かなりあった 29%、普通にあった 3%で 100%。参加者全員から支援現場での活用意欲が示された。

講座に参加して感じたことは？複数選択 令和4年度 n=503



分析

おもしろさ楽しさを感じた 84%、全体的に有意義だった 86%と 80%以上。子育て支援の勉強になった 遊び製作のスキルを覚えた 自分でも演じてみたいと思ったが各 50%を超えている。また、子どもの発達を知った、パパママ・仲間に伝えたいと思った、ニーズに合っていた等もあります。交流ができて良かったが 4割あり、地域の子育て支援の連携が図られた。

参加者のスキルアップの実践的技術や実践的理論の習得、子育て支援のスキルアップが図られ、地域における子育て支援の質の向上が示唆された

支援力向上講座に参加したスタッフの自由記述

- ・わらべうたを何気ない日常の保育中に口ずさむと子どもは耳を傾けたり、一緒に口ずさんでくれ、気持ち繋がった気になる。リラックスして歌うと癒されたり活動力みなぎる。子どもと同じ波動で話すと対応が変わる、というお話が体感していたことと理論が繋がり嬉しかった。
- ・わらべうたのリズムは赤ちゃん、幼児の心の安定に最高だと思った。階段を一步一步登る丁寧さ、ゆったりとした時間の流れを感じられるものを意識し、職場に作ってあげたいと思う。
- ・つい時間に追われてお母さんたちと次々と話をするだけになってしまいがちなので、わらべうたも交えて心の支えになるような支援につなげてあげたいなと思った。
- ・身近なもの封筒やスーパーのレジ袋などがすぐに生命を宿したような人形になり、自分自身も引き込まれていった。
- ・スポンジがくねくねし、カメレオンが虫を食べる瞬間、犬、カエルなど親しみのある動物を子どもが見ていた。作ったり、発表したり考えたりと楽しかった。
- ・月齢にちょっと配慮してやっていこうと思った。
- ・自尊心、肯定感、ほめあう、たたえあうことは一番大切ということが心にひびいた。
- ・子ども達にとって母から学ぶことの多さ大事さをママ達に伝えてあげればと思った。
- ・良いところをほめる、自分がまずは楽しむ、大事である。子育て支援も自分が元気でないと!!

<アンケート資料の文責：中村雪江>

【分析者】 大学教員：聖徳大学 聖徳大学大学院 兼任講師 佐野裕子
植草学園短期大学准教授 久留島太郎
保育士：白鳥みゆき
(特) 子ども劇場千葉県センター：岡田泰子 中村雪江

実施施設：船橋市塚田地区社会福祉協議会ひよこひろば
プログラム名：「わらべうたあそび うたとおはなしのじかん」



実施場所：船橋市塚田児童ホーム第2集会室

実施日時：2022年5月10日(火) 11:00～11:40

参加者数：総数 36人

①乳幼児 15人(0歳：4人 1歳：11人)

②大人 21人(保護者：15人 地区社協スタッフ5人 行政・児童ホーム園長1人)

スタッフ数：パフォーマー 1人(大沢 愛)

コーディネーター2人(岡田泰子 中村雪江)

プログラム内容

- ①ちょちちょちあわわ ②ちっちこことまれ！高い高い！ ③ しおぶりこぶり塩んなかポチャ～ん
④ぎっこんぱったんちゃんころり～ん ⑤てんこてんこてん ⑥かごかご16文
⑦てってのねずみ ⑧小さな鈴を鳴らす ⑨さよならあんころもちまたきなこ

当日の様子

- ・わらべうたが始まると、お母さんは、愛さんのやさしいうたと説明に沿って、子どもの顔を覗いたり、ほっぺをつつついたりゆったり一緒に参加していた。
- ・だっこでとなりの子どもと「ばーっ！」をすると待っていたように声を出して笑っていた。
- ・ギョコンバタン、だっこでゆらゆらは大好きなようで、えへへと笑ったり「もいっかい！」と繰り返しをねだって楽しそうだった。愛さんも「もいっかいね」と応えていた。
- ・1才の子たちは広い場所に来たことがうれしそうで、走って室外で出ていく子もいた。スタッフがお人形で話しかけたり、声かけし、お母さんも穏やかなようだった。

保護者からの声

- ・これからも歌を歌ってあげたいと思いました。
- ・子どもとじっくりと2人で関わる時間を持ててよかった。先生のステキな歌声に癒されました。
- ・たのしかった 14人 いやされた 9 うれしかった 3人

施設関係者からの声

- ・マスクがなかったらどんなによいかと思いました。愛さんのきれいな歌声がお母さんたちを優しくつつんでいるようでした。
- ・コロナ対応の中でも交流ができてよかった。お母さんたちの子どもを見るまなざしがやさしくうれしそうでした。

パフォーマーからコメント

赤ちゃんが1番好きなのは人の顔。目を合わせて名前をよんであげてほしい。よ～く見ると思う。それだけで子どもは幸せなんです。

(コーディネーター 岡田泰子 中村雪江)

実施施設：栄町 キッズランド

プログラム名：「なんだろな なんだろな？」



実施場所：栄町 キッズランド

実施日時：2022年8月26日(金) 10:40～11:20

参加者数：総数 33 人

①乳幼児 13人(0歳児：5人 1歳児：2人 2歳児：5人 その他：3歳1人)

②大人 20人(保護者10人 施設職員 6人 行政4人)

スタッフ数：パフォーマー 1人(うさぎの森企画 大森靖枝)

コーディネーター2人(滝口淳子 中村雪江) スタッフ1人(桑原信子)

プログラム内容

色々なオモチャの楽器を使い♪「こ・ん・に・ち・は」「りすさんとどんぐりのおはなしあそび」
ラップの芯で♪「見え～た、見えた」 ペットボトルの蓋をラップの芯に入れてできた・できた！
お手紙のおはなし パンダ体操 アコーディオンで♪楽しく歌っておしまい

当日の様子

いつも遊んでいる場所でゆったりした広い会場で落ちついて見ていました。身近な紙やラップの芯やペットボトルの蓋など、ものが動き出すとはおなしの世界や遊びの世界に引き込まれていく様子がよくわかりました。

「ちょう～ちょ、ちょう～ちょ」おーちゃんの声に合わせて「たたいて、たたいて」「たたかない」と手遊び。色々なオモチャの楽器を使い♪「こ・ん・に・ち・は」♪お母さんも笛を動かして参加。パンダのぬいぐるみがパネルを運び「りすさんとどんぐりのおはなしあそび」が始まる。「どんぐりみつけてあげてね～」見つけたどんぐりを口に運ぶイメージ遊びで親子もいっしょに真似っこ。ラップの芯を使いながら♪「見え～た、見えた。お目目がみえた。な～にがみえた？おはながみえた」0歳児も飽きることなく、1～2歳児は楽器の音が鳴ると体を動かしていました。

♪「おさんぽ、おさんぽ、1.2.3」♪雨が降ったり、雷がなったり、最後は虹がでたり。お手紙の中の絵が動き出し、じーっと食入のようにみていました。お母さんと子どもと一緒に、♪「パンダさんパンダさんピロ～ゴロゴロ～ハグ。うさぎさんがねうさぎさんがねピョ～ピョ～ピョ～ピョ～ピョ～。くまさんがくまさんがどすん。どすん。どすん。」ごろごろしたり、はねたり、体を動かして遊んだ。動と静が組み合わせられた、手作り感満載の小さなかわいいあそびやおはなしが、子どもたちの笑顔と共にテンポよくすすめられた。

保護者からの声

聞きなれない音に興味をもって目で追っていた。/体を動かす遊びが特に楽しく、とても良く笑っていた。/子どもの楽しそうな姿をみれてよかった。/家に帰ってできそうなあそびがあった。/興味深く見たり聞いたりしていた 67% 笑っていた・真似をしていた 33% 楽しかった 67% 癒された 44% 子どもの様子が気になった 44% また参加したい 100%

スタッフ・行政からの声

わらっていた 90% 興味深く見たり聞いたりしていた 78% まねをしていた 78% ママたちが楽しそうだった 100% うれしそうだった 56%

(コーディネーター：滝口淳子 中村雪江)

実施施設：佐倉市志津児童センター

プログラム名：「歌子さんの笑顔のコンサート&楽器あそび」



実施場所：佐倉市志津児童センターホール

実施日時：2022年 9月 8日 (木) ワーク 10:30~11:10 楽器に触れる 11:10~11:35

参加者数：総数 41人

①乳幼児 16人(0歳：5人 1歳：5人 2歳：6人)

②大人 25人(保護者：16 施設保育士・スタッフ：8人 行政1人)

スタッフ数：パフォーマー2人(歌子さん ぴんたろーさん)

コーディネーター2人(中村雪江 綿貫のぼら) スタッフ2人(棚田純子 守田泰子)

プログラム内容

・「はじめまして こんにちは」みんなのお名前かかせて ・シャボン玉とんだ ・大型絵本「あめふりくまのこ」 ・お花がさいた ・金太郎でハイシドウドウ 立ってジャンプ ・ほっぺにチュ ・ピンちゃん登場いろんな音で遊ぼう ・幸せのはかりかた ・楽器に触れ交流の時間

当日の様子

歌子さんの優しい歌声に、子どもたちを膝に抱っこして体をゆらゆらさせながらやさしく子どもを見つめる。歌子さんが、ひとりひとり名前を呼びかけ「よろしくね～」と言われると嬉しそうに振り向いてお母さんを見ていた。大形絵本「あめふりくまのこ」でお歌 絵本の仕掛けに笑い声、手をパチパチたたいて喜んでいる。歌とお話のバランスが絶妙で、子どもたちを引きつける。元気のいい男の子が嬉しくてしょうがない！という感じでぴよんぴよんはね始めた。突然がらがらと大きな楽器の音に驚き、ぴんたろーさんの※#?!○の会話が伝わり、笑いが起きる。

ほっぺにチュ！てるてる坊主のお人形をみんなに配り、歌に合わせて一緒にチュ！お母さんにチュ！をしてもらい満面の笑顔が出て、会場が幸せの雰囲気にも包まれた。最後、歌子さんからのママやパパたちへの応援のメッセージが詰まった歌「幸せのはかりかた」に、心癒され聴き入った。

保護者からの声

- ・歌子さんの美しくやさしい歌声に涙が止まらず、心が癒され感極まって歌えませんでした。「子どもにとって一番の歌手は、お母さん、お父さん」のメッセージが心に残りました。
- ・家でもたくさん、しつこいくらいに歌を歌って育てていきたいと思います。
- ・見たことのない珍しい楽器を、親子で触れる体験でき、とても楽しめました。
- ・アンケートから：楽しかった100% 癒された90% うれしかった60%
家でやってみようと思った遊びは？100% また参加したい100%

施設関係者からの声

- ・最初緊張してなかなか入れない子もいたが、いつの間にか楽器に触り音を出して笑顔になっていました。参加して全員が参加できました。
- ・音の力、歌の力がすごいです。子どもと親を引き付け、皆が引き込まれていくようでした。
- ・親子にこのような楽しい体験、興味を持てる場が大事です。

行政からの声

- ・素晴らしいです。歌や楽器の音に反応して、いっしょに体をゆすり、触れて感じ楽しんでいる親子の姿を見ました。
(コーディネーター 中村雪江 綿貫のぼら)

実施施設：佐倉市南部児童センター
川中美樹さん：「わらべうたであ・そ・ぼ」



実施場所：佐倉市南部児童センター

実施日時：2022年9月8日(木) 10:10～11:50

参加者数：総数 47人

② 乳幼児 17人(0歳:7人 1歳:8人 2歳:2人)

② 大人 30人(保護者:16人 施設職員スタッフ・保育士:10人 行政2人 地域:2人)

スタッフ数：パフォーマー1人 (山の音楽舎 川中美樹)

コーディネーター2人 (滝口淳子 大森智恵子)

プログラム内容

0歳 からだでお話し、うーお・あぶー・ぼっ・れろれろ、お顔の前でやるあそび、声を出す遊び、あーあー・ていちていち、歌いながら親が手をたたき、ごろごろ・きんぎょ～、えんやら桃ノ木、去年のやや子 今年のやや子、やりながらみんなで動く(ハイハイ・抱っこ) お月さまのミニミニシアターを見る

当日の様子

<0歳児>

アブーなどの口遊びや声を出す遊び、子どもの様子をみながら、赤ちゃんも親の方をみて興味を持つ。皆抱っこし赤ちゃんをかるくゆすりながら、赤ちゃんと遊ぶのかを丁寧に話しながらわらべうたを口ずさみながら歩く。白いシフォンのふわふわ布がすわっているお母さんの上を優しく通りぬけると月齢の高い赤ちゃんがあれ？というように布を目で追う。それを見てお母さんの頬が緩む表情をする。最後のお月さまのミニミニシアターの時はみんな抱っこで座り真剣な眼差しを向け川中さんの声に聴きいつている。

<1～2歳児>

どの子も目や耳は川中さんを追い、お母さんの方をちらりと見ながらそれぞれの距離をとりながら動いている。0歳と同じわらべうたをやっても反応ははるかに大きい。身体を動かし、声を出し笑う。親はその反応を楽しんでいる風にも見うけられる。馬はどしどしでは、子どもは「きゃきゃっ」と声を上げ、喜んで、良く動ける子が多い。しっかりおんぶされ動きと歌に合わせて声を上げ身体をゆすり楽しく笑っている子もいる。お月さまのミニミニシアターでは、興味津々で近づく子もいるが、子どもたちは皆満足気な顔をしていた。

保護者からの声

- ・普段あまり聞くことのない手遊びや子守歌等、子どもと一緒に体験でき楽しかったです。
- ・自宅でも繰り返してやってみます。3歳の上の子にもやってあげたいと思った。
- ・アンケートから：たのしかった・癒された多数。家に帰ってやってみたい多数。また参加したい100%

施設関係者からの声

- ・赤ちゃんの動きに合わせた動と静のプログラムで、きれいな声のわらべうたに心も体の癒される様子を一緒に感じる事ができました。

(コーディネーター：滝口淳子 大森智恵子)

実施施設：成田市三里塚なかよしひろば
プログラム名：「おやこでいっしょにダンスあそび！」



実施場所：成田市三里塚なかよしひろばホール

実施日時：2022年 9月 9日 (金) 10:30～11:10

参加者数：総数 41人

①乳幼児 15人(0歳：5人 1歳：5人 2歳：5人)

②大人 26人(保護者：16人 施設関係者・保育士：6人 行政2人 地域:1人)
成田ケーブルテレビ1人)

スタッフ数：パフォーマー 1人 (安西真幸)

コーディネーター2人 (滝口淳子 中村雪江)

プログラム内容

真似をしながらベビーシャーク：指先で小さくパクパク 手首で少し大きくパクパク 腕を伸ばして大きくパクパク ブクブク泳ぐ おもちゃのチャチャチャ どんぐりころころ びよ～んびよ～ん にゃあ～にゃあ～：ネコになって転げて足を上げる キュッキュッとさする(足 頭 肩 背中 おしり) トトロのさんぽの曲でダンス 風が吹いてきた！布であそぶ ミッキーマウスの曲で歩く、ダンスをする

当日の様子

手をたたいたり きらきらしたり 膝の上に子どもを乗せてピョンピョンして抱き上げたり、思いっきり飛び跳ねたりと、体と心をリラックスする楽しい動きをしていると、もう親子が笑顔になってきた。ベビーシャークで、指先で小さくパクパク 手首でパクパク 腕を大きくパクパク リズミカルな音楽で、子どもたちはまあちゃんの真似っこをし始めた。♪びよ～ん？あれ？なんだろう？変な音に合わせたポーズをする。ぶくぶくぶく水の中、泳ぐ。にゃあ～にゃあ～ ネコの鳴き声がする。ネコになって転がる。キュッキュツの音では、子どもの足や 頭 肩 背中 おしりをさする等、お母さんといっしょにキヤッキヤツと体に触れ合いながら楽しんでいる。「わっ トトロだ！」知っている曲がかかると嬉しそうに歌いながら、まあちゃんのポーズを真似して動く。あっ風が吹いてきた！ 白い布の風が大きく空中を吹きまわると、親子はわあわあ言いながら風を避けてくぐる、今度は飛び越える。最後ミッキーの曲では、親から離れて自由に動き飛び跳ねたり、赤ちゃんを抱いたパパも体を揺すり、会場全体が嬉しさで満ち満ちていた。

保護者からの声

- ・すごく楽しみにこの日を待っていました。子どもは最初緊張していたが、始まったらすごく楽しそうに真似して踊っていて、たくさん褒めてもらえて家でもやってみようと思います。
- ・大好きな曲がたくさんで、親子で楽しめました。他の子どもたちとも一緒にダンスができて楽しかった。何より、親の私がリフレッシュできました。
- ・アンケートから:楽しかった100% 癒された・うれしかった多数 家に帰ってやってみたいと思った100% また参加したい100%

施設関係者・行政からの声

- ・音を感じて聴いて体を動かしている。子どもの力を感じた。
- ・親の癒しにもつながる貴重な時間でした。 (コーディネーター 滝口淳子 中村雪江)

実施施設：野田北コミュニティーセンター

プログラム名：「歌子さんの笑顔のコンサート&楽器あそび」



実施場所：野田北コミュニティーセンター

実施日時： 2022年 9月 13日(金) 10:30 ~11:10

参加者数：総数 15人

①乳幼児 6人(0歳児:2人 1歳児:3人 2歳児:1人)

②大人 9人(保護者6人 施設職員 3人)

スタッフ数：パフォーマー 2人(リーフ企画 歌子さん ぴんたろーさん)

コーディネーター2人(岡田泰子 中村幸恵) スタッフ：板垣光子

プログラム内容

子どもたちにはじめまして 「ゆりかご」 「シャボン玉」のうた、「ほっぺにチュッ」
ぴんたろーさんと楽器であそぶ 時間になるまでたっぷり楽器にふれる体験

当日の様子

かすかな音色に子どももおとなもアッという間に、耳が覚めたように集中して静かに聴き入っていた。近づいて、名前を呼んでもらうと、まずママが嬉しそうだった。「ジャンプ、ジャンプ、ジャンプ！」で子どもはにこにこ笑って興奮していた。ぴんたろーさんとのかけあいで、木の実のお手玉を口にくわえて離さない子、自分のクツの中に入れる子など、とても自由に遊んでいた。ようすをみるばかりで、なかなか楽器にさわろうとしなかった女の子が最後の方にバチをもって小さな音を出し、「みてみて！」というようすでおとなの顔をみていた。終了後はお気に入りの楽器で夢中になって遊ぶ子、興味津々で舞台のなかに入って触ったり、ぴんたろーさんにかまわれて太鼓で遊ぶ子、そばで太鼓の音がしても動ぜず、興味を持ったものに夢中になっている子、輪っかの楽器？をくわえてひたすら歩き回る子など、それぞれが違った興味の持ち方や動きをしていて、子どもたちは聴く・見る・の他に触ったりと身体じゅうで感じていた様子。みんなちがっていた。

保護者からの声

- ・ジャンプするのがとても大変だった(笑)汗だくです。いい運動になりました。
- ・実際にさわらせて頂き、ステキな音、歌をきかせて下さって楽しかったです。
- ・とても楽しかったです。又、ぜひ参加したいです
- ・興味深く見たりきいたりしていた80% 楽しかった80% うれしかった70% また参加したい80%

スタッフ・行政からの声

感想にも「歌子さんお声と楽器の音色がお子さんたちの心にとっても響いているように感じました」と書かれているように、優れたプログラムであることがスタッフにも伝わっている。歌子さんとぴんたろーさんのプログラムは、びっくりさせないで、すぐ側で、きれいな歌声、楽しいリズムに触れられる、乳幼児の発達に研究された優れたプログラムである。

(コーディネーター：岡田泰子 中村幸恵)

実施施設：佐倉市老幼の館

プログラム名：「なんだろな なんだろな？」



実施場所：佐倉市老幼の館ホール

実施日時：2022年9月16日(金) 10:30~11:10

参加者数：総数 24人

①乳幼児 10人(0歳：3人 1歳：4人 2歳：2人 3才：1人)

②大人 14人(保護者：8人 施設関係者・保育士：6人)

スタッフ数：パフォーマー 1人(うさぎの森企画 大森靖枝)

コーディネーター2人(滝口淳子 中村雪江)

プログラム内容

かんこんかんこん♪なんだろな? 「かくれている絵をあてる」 「りすさんとどんぐりのおはなしあそび」
マヨネーズの空容器で作った楽器でシュッシュポップおにぎりおにぎり作って食べよ おおちゃんに届いたお手紙のおはなし お山をのぼる カミナリだ! 雨ざーざー
アコーディオンで♪楽しく歌っておしまい 虹が出た!

当日の様子

施設のスタッフ1人が、おおちゃんの助手として関わり、白のベレー帽をかぶった「おおちゃん えいちゃん」は息もぴったり。手をたたくパチン 手をたたくパチン 手をたたかない・・・どこかでパチンと音がする わっきゃっ。かんこんかんこん♪なんだろな?なんだろな?絵を少しづつ見せながら隠れている果物や動物を当てる。いちご うさぎ 元気のいい音がする。リスさんとどんぐりの話では、落ちていっているどんぐりを拾って食べるもぐもぐポーズを親子でしながら、お話の中ではリスさんのほっぺがふくらんでいく。マヨネーズの容器に水を入れて吹く。ポーピュー音が出た!みんな驚いた。マヨネーズ笛を吹きながらシュッシュポップ!何だか楽しくて笑い声がしている。お腹すいたね おにぎりたべようか 何入れる?「うめぼし」「おかか」大きなでっかいおにぎりも作って食べた。雨が降り雷が鳴るシーンでは、会場を走りながら雨を降らせるおおちゃんの音の大きさに、怖くなって逃げた子もいた。臨場感が溢れている。お話の最後、壁の虹の飾りつけをワークに活用していた。

保護者からの声

- 音と人形でテンポよく、見てておもしろかったです。
- 子どもと2人きりで家での遊びをどうしたら楽しんでもらえるかいつも悩んでいます。今日はとても参考になるあそびがあり、親自身も楽しめました。
- 最初はぐずっていましたが、始まってからは楽しそうに参加していてうれしかったです。
アンケートから:たのしかった いやされた うれしかった 安心できた多数あり。また参加したい100%

施設関係者からの声

- 緊張感や不安な気持ちがどんどんほぐれていくのが見えた。0歳がじーっと見ていてすごい!
- 体を動かしてあっという間の35分。飽きずにバラエティーに富んでおり会場全体が一体化した。
- 子どもも親もすごくうれしそうで、子どもに戻ったようにワクワクして見えた。
- 子どもの笑顔に親も満足。子どもを引き付ける技は勉強になった。

コーディネーター (滝口淳子 中村雪江)

実施施設：八千代市子ども支援センターすてっぷ 21 大和田
プログラム名：「おやこでいっしょにダンスあそび！」



実施場所：八千代市農業交流センター会議室

実施日時： 2022年 9月 20日 (火) 10:00 ~ 10:50

参加者数：総数 37人

① 乳幼児 12人(0歳:3人 1歳:8人 2歳:1人)

② 大人 25人(保護者:11人 保育士:10人 行政関係者:4人)

スタッフ数：パフォーマー 1人 (安西真幸)

コーディネーター2人 (綿貫のぼら 棚田純子)

プログラム内容

- ・ミッキーの曲に合わせてみんなで行進(手拍子で) ・幸せなら手をたたこう ・ベビーシャーク ・どんぐりころころで体を動かそう ・音遊び(木魚のような音、キュッキュ ブクブク ビヨーン ニャオーン) ・風が吹いたよ、布をくぐる。布をまたぐ ・トトロの曲で歩きながらポーズを入れる
- ・ミッキーの曲でピョンピョン 汗かいたね ・うでや足をモミモミお疲れ様

当日の様子

頭にバンダナをした男の子が入って来る。お母さんが「ダンスだからその気分です！」とあってニコニコ笑顔。まあちゃんから「体を動かして親子で楽しんで！」という、メッセージが参加した親子や保育士に安心感を与えた。ミッキーの曲にのって大きな輪になって手をたたきながら準備運動のような行進から始まった。保育士の方々も親子の前後に上手に入りいっしょになり、知っている曲でママたちもすでに笑顔になった。幸せなら手をたたこうもあるきながらポーズを入れ、まあちゃんのポーズを真似した。リズムカルな曲ベビーシャークで、指先で小さくパクパク 手首で少し大きくパクパク 腕を伸ばして大きくパクパク まあちゃんは子どもたちに近づき一緒にパクパク。「どんぐりころころ」のダンスを、スローテンポで、アップテンポで、踊ると会場はわ〜わ〜と声が出始めてきた。♪びよーン？あれ？なんだろう？変な音に合わせたポーズをする。あっ大風だ！ 白い布が子どもたちの頭上をふわ〜と吹いていく。親子で布の風をくぐる・またぐ。1歳児の子どもはママと手をつなぎくぐる。2歳児は自分だけでくぐり・またぐ。気持ちがマックスに開放されるワークになった。

保護者からの声

- ・5ヶ月でもたくさんふれあい遊びができてとてもいい時間になりました。・娘も大はしゃぎで喜んでいました。家でもやってみたいと思います。・スゴク楽しめました。定期的開催してほしいです。
- ・アンケートから：楽しかったから わらっていた 癒された また参加したい 100%

施設関係者からの声

- ・「ひろば」でも取り入れられそうなダンスがありとても参考になりました。
- ・子どもが喜びそうなリズムカルな曲を使い楽しかったです。どんな動きをするかわかりやすく表情で現してくれたのはじめてでも動きやすかったです。

(コーディネーター：綿貫のぼら 棚田純子)

実施施設：習志野市こどもセンター

プログラム名：「なんだろな なんだろな？」



実施場所：習志野市こどもセンター

実施日時：2022年9月22日（木）10：20～11：00

参加者数：総数30人

①乳幼児11人（0歳児：1人 1歳児：6人 2歳児：3人 その他：3歳児1人）

②大人19人（保護者10人 施設職員3人 行政3人 地域：ならしの子ども劇場3人）

スタッフ数：パフォーマー1人（うさぎの森企画 大森靖枝）

コーディネーター2人（大森智恵子 綿貫のぼら） スタッフ：桑原信子

プログラム内容

・ごあいさつ・笛やラッパのおもしろ楽器・まねっこ遊び「たたいて♪たたいて♪たたかない♪」・なんだろな？絵をみて当てよう。（答えはリンゴとぞうさん人参とうさぎ）・どんぐりとリスのおはなし・おにぎりの手遊び・マヨネーズの空き容器の笛を使ってシュッシュッッッ、チューリップの演奏・うさぎさんとくまさんの劇遊び

当日の様子

・「あーちゃんです。おーちゃんです」と白い帽子の明るく元気なごあいさつから始まった。音が鳴り出すと、みんな前に集中。パチパチ、まねっこでパチパチ。笑い声、身振り手振りで楽しそうな親子。少し遠まきにうろつきながらも、おーちゃんを気にかけてながら歩いている子ども。お母さんたちは体いっぱい動かして、子ども以上に楽しんでた。始まって15分程経つと集中が途切れる子どももちらほら。手拍子と楽器のリズムと一緒に歌っている。

「うさぎさんとくまさんの劇あそび」では雨が降ってきたシーンではお母さんが子どもと自分の頭の上にハンカチをかけて濡れないようにするしぐさがほほえましい。くまさんがかくれんぼしておおちゃんがさがしているときに「あそこ！」と教えてくれる子どもがいた。子どもはお膝の上や抱っこしながらスキンシップ。親子でお話の世界に入り込んでいる様子。うさぎさんといっしょにびよんびよんダンス。抱っこしながら一緒に体を動かしている。少し泣き声やぐずった声の子もいるが、お母さんたちはおおらかに見守っていて、全体的にはゆったりしている親子でした。

保護者からの声

- ・子どもは最初から落ち着きなかったのですが、手紙に書いてあったこともあり、最後まで見させてもらうことが出来ました。
- ・たのしかったです。眠くなってしまったけど、子どもの成長も感じられて良かったです。
- ・子どもセンターでこのようなイベントをやるととてもうれしい。子どもも楽しそうでした。
- ・興味深く見たりきいたりしていた60% たのしかった100% また参加したい100%

施設関係者からの声

- ・子どもの年齢差があったが、音に反応が良かった。3歳児はじっと見入っていた。子どものいいところを引き出してもらった。子どものいろんな表情をみられた。
- ・大森さんのアシスタントでのりにのって、楽しくできた。子どもたちの様子がみられてうれしかった。いつも静かな子も声が出ていた。（コーディネーター 大森智恵子 綿貫のぼら）

実施施設：白井市桜台児童館

プログラム名：「おやこでいっしょにダンスあそび！」



実施施設：白井市桜台児童館

実施日時：2022年9月27日（火）10:30～11:10

参加者数：総数40人

①乳幼児 18人（0歳児：2人 1歳児：3人 2歳児：9人 3歳児：4人）

②大人 22人（保護者18人 施設職員4人（桜台児童館2人 白井子ども劇場2人））

スタッフ数：パフォーマー1人（安西真幸）

コーディネーター2人（岡田泰子 中村雪江） スタッフ：森内由紀

プログラム内容

- ・「ミッキーマウスマーチ♪」のせて歌いながら親子で輪になって歩く。・「幸せなら手をたたこう♪」のリズムで座って足でトントンリズム、ストレッチ、立ってジャンプ
- ・「どんぐりコロコロ♪」「おもちゃのチャチャチャ♪」をうたいながらフリをつけて踊る、身体をゆらす・水音、ボコボコ音、ビョーン音、ニャニャー猫ちゃん音 などの擬音が流れて、感じるままに自由に表現
- ・フワリとした白くて長い布を、まーちゃんとスタッフが両端をもって親子みんなの頭上にかぶせるように波打たせてゆっくり動く、また布を下で這わせて縄跳びにする

当日の様子

- ・知っている曲が流れたとたん、親子みんな会場いっぱいニコニコと笑顔がうまれた。パチパチの拍手にまーちゃんが「じょうずじょうず！」と声をかけると、センターで大きいうごきをする子がでてきた。
- ・ハイハイの0歳児はお母さんのビザや側で、大きい子のようすをジーッとみている。また大きい子も全員が活発に動くわけではなく、お母さんの側で座り、少しは参加しては、またジーッとみている子もいた。それぞれが気持ちのままに身体表現しているようだ。
- ・お母さんは我が子がどうであろうと自分は自分で笑顔でノリノリで楽しんでいる人、子どものようすが気になるようすの人と、こちらもそれぞれだった。だんだんと立っているお母さんが増え、子どもの両腕をもってピョンピョンさせたり、踊ったりしていた。
- ・ゆっくり休みたい風情で、壁際に座ったままで最後まで参加する人もあり、スタッフも講師もムリには誘わなかった。途中から参加した親子は、まーちゃんは「こんにちは！」と声をかけられて、安心したように参加できた。

保護者からの声

- ・簡単な動きで楽しく遊べたので、とても有意義な時間になりました。
- ・まあちゃん先生が子どもの様子を見ながらアイコンタクトをとってくれたのが、とてもうれしかったです。
- ・わらっていた 興味深く見たりきいたりしていた 真似をしていたが大多数。楽しかった80% また参加したい100%

施設関係者からの声

- ・いつもとつどいの中でおもちゃで遊ばせながら休んだり交流している時と、全然ちがう顔だった！
- ・今日はすごく楽しそうに動き回っていて、全体的にとってもいい雰囲気でした。0才のママたちは、自分の子どもはまだそんなに動けてないのに楽しくしているようすが印象的だった。

（コーディネーター岡田泰子 中村雪江）

実施施設：富里市ひよしだい保育園

プログラム名：「おやこでいっしょにダンスあそび！」



施設会場：富里市ひよしだい保育園ホール

実施日時：2022年 10月 3日(月) 10:00 ～ 10:40

参加者：総数 47人

①乳幼児 34人 (0歳児～1歳児 34人)

②大人 13人(保護者 0人 施設職員 12人 園長先生 1人)

スタッフ数：パフォーマー1人(安西真幸)

コーディネーター2人(中村雪江 滝口淳子) うさぎの森企画 大森靖枝

プログラム内容

幸せなら手をたたこ 手でタッチ 高い高い ベビーシャーク びよ～ん ぶくぶく おもちのチャチャチャ にやお～ん 布であそぶ トトロ

当日の様子

年齢別に色違いの日除け帽をかぶっており、緑色の年齢の子どもはかぶったまま参加した。保育園のホールには、きたことがない子どもたちもいるようで、そう馴染のある会場ではないらしい。大きな乳母車にのせられて、目と鼻の先の新しく開園した保育園から到着。最初から賑わしく、緊張している子もいれば泣いている子もいる。あちこち走りまわる子もいれば、おとなしく座っている子も。ひよし台保育園の自由な雰囲気は、子どもたちにとっては安心感があり、堅苦しさがなく自由そのもの。保育士さんたちが声をかけながら数人の子どもを見ている。「まあちゃんです よろしくね」ではじまった。まあちゃんが寝転んで足を上げると一緒にぐると1人だけ真似をした。後はぼかんとまあちゃんを見ている。足を上げる柔軟体操は保育士さんたちが積極的。見ていた2歳児と一緒に足を上げた。手をパチパチ。幸せなら手をたたこの曲にあわせ、子どもたちが手をたたきながら真似をして踊り出した。手と手を合わせてタッチ、まあちゃんとみんなと子ども同士でタッチ。高い高い～先生方も子どもたちを持ちあげた。きゃっきゃと大喜び。ベビーシャークも上手に真似をして手を小さく、大きく上下した。全員の動きが揃うわけではないが、自在に体が動き笑顔がいっぱいになってきた。同じ年齢の3人の子がまあちゃんの話をしっかり聞いている。そして上手にダンサーの雰囲気のように踊る「すごいね！」とまあちゃんにほめられた。大風がふいてきた！白い布を見上げて逃げ、今度は渡る。わあわあ言いながら渡る。いろんな動きを連続してやってみる。先生がノリノリで子どもがいっしょについていくと、みんなでダンスになる。はしゃいで遊ぶ先生たちが明るくて素敵。足を上げ手も動かし飛びあがり自由自在に踊るまあちゃんを真似してみんがが踊る。わ～い みんなでばんざあ～い。いい意味で雑然として賑やかしく、日常の園の保育の延長のようでもあり生活感があるワークになった。

施設関係者からの声

- ・子どもたちが、まあちゃん先生の言葉を聴いたり動きを見てニコニコ笑ったり、ジャンプをしたり、手拍子をしたり、とっても楽しそうに活動していた。大人と子どもと時には共感していて、1つになっていくことを感じ、感動しました。素敵な時間をありがとうございました。
- ・プロならではの力、赤ちゃんを引きつけ全身で反応することを教えてくれた。
- ・子どもたちの名前を呼びかけながら褒めていただいたり、子どもの良さを引き出してくれたので、子どもも嬉しい表情だったのでよかったです
- ・ずっと泣いていた子も最後には、バイバイ、タッチもできました。

(コーディネーター中村雪江 滝口淳子)

実施施設：印西市そうふけつどいの広場
プログラム名：「 にこにこげきじょう 」



実施会場 印西市そうふけつどいの広場

実施日時 2022年 10月 4日(火) 10:30 ~ 11:10

参加数：総参加数 52人

①乳幼児 24人 (0歳児：4人 1歳児：10人 2歳児：7人 (その他：3歳児：3人)

②大人 28人(保護者 20人・施設職員 2人・行政 5人 いんざい子ども劇場 1人)

スタッフ数：パフォーマー2人(人形劇団ののはな 納富俊郎 納富祥子)

コーディネーター2人(鈴木佳子 滝口淳子)

プログラム内容

・ぶたたぬききつねねこ ・ウレタンロボット ・むしゃむしゃくん ・びよんちゃんとケロちゃん・かえるの歌 ・くねくねくん ・みんなで人形持っかえるの歌で遊ぼう・終了後ふれあいタイム

当日の様子

「こぶたぬきつねこ」がはじまると皆自然と歌い出し、どの子もお母さんお膝に座りバケツから出入りするじーっとカラフルな人形たちに魅入っている。ウレタンロボットが出てくると「みてみて」の声。こんにちはとロボットが言うと「こんにちは」と答える子。ロボットの準備体操を見て笑うお母さんときょんとする子、どちらも舞台に引き込まれている。空を飛ぶと「わっ！」お母さんたちあちこちで声上がる。怪物がロボットをかじると子どもたちが声をあげて笑いながらお母さんの顔を見る。どの子もお母さんの膝や横に座り、動かす目は人形と舞台に釘づけ。0歳の子も腹這って首をあげて見入り動かない。目を見開きじーと見ている。犬が出てくると「わんわんだー！」会場全体声と笑いで包まれる

むしゃむしゃくん、ハエをとれないかえるくんを応援してみんなで「ジャンプ！」でもかえるくんハエを取れずに納富さんの「ざんねーん！」の声にみんなびっくり！次に出てきたカミレオンにも驚きの顔。舌が伸びてハエをとると「わあ！」大人の声、びっくりした顔。

「ねんねこねこのこもりうた」からだ寄せあってじーっと聴いている親子もいた。ワーク終了後、交流の時間、紙コップに入ったかえるのゲゴゲゴ人形でみんなでかえるの歌。お母さんが子どもの前でやっている親子、子どもが一生懸命動かしてお母さんに見せている親子、自分で楽しそうに動かしている子どの子も親もとても楽しそうに一生懸命かえるの人形で遊んでいる。

保護者からの声

- ・ちょっとしたアイデアで、こんなに楽しいことが色々できるんだなあと感動しました。子どもがじーっと真剣に見ていたのが嬉しかったです。また、ぜひやってほしいです。
- ・最初の人形で、子どもが食いつきました。途中の(ね)が出てくるところは、とても、動きがリズムカルで、子ども以上に親がワクワクしました。
- ・子どもの集中力に驚きました。スポンジが、あんなに生き生きとした動きを出す事を初めて知りました。家でもやってみようと思います。また参加したい 100%

施設関係者からの声

- ・今日のお母さんたちは思い出の一ページになったのは確かだと思います。
- ・5か月の子が食いつくように見えていた。・子どもたちの集中力のすごさに驚いた。

(コーディネーター 鈴木佳子 滝口淳子)

実施施設：成田市公津の杜なかよしひろば

プログラム名：「ここにこげきじょう」



実施施設：成田市公津の杜なかよしひろば

実施会場：もりんぴあこうづ MORIMORI ホール

実施日時 2022年 10月 5日 (水) 10:30 ~ 11:10

参加数：総数 45人

①乳幼児 20人 (0歳児：2人 1歳児：14人 2歳児：4人)

②大人 25人(保護者 20人 施設職員 4人 行政 1人)

スタッフ数：パフォーマー2人(人形劇団のはな 納富俊郎 納富祥子)

コーディネーター2人(滝口淳子 中村雪江) スタッフ：地域3人

プログラム内容

- ・「こぶたぬきつねこ」：大きな紙コップの中から「♪こぶた♪たぬき♪きつね♪ねこ」と人形が出て歌う。
- ・「ウレタンロボット」：へんてこりんのロボットが芋虫やお花、犬、宇宙人、赤ちゃんと会話劇
- ・「むしゃむしゃくん」：トランクの中から、カミレオン、カエルくん、かみうさぎ登場
- ・「ピョンチャンとケロチャン」：大きな紙コップの中のカエルが「♪かえるのうた」合唱
- ・「くねくね」：ウレタンの「く」「ね」まるで生きているように動きだす。
- ・「ねんねこねこのこもりうた」：ウレタンの「ね」の形。大小の「ね」がまるで親子の様子に見える

当日の様子

カラフルな色のぶた たぬき きつね ねこが登場。みんなで歌ってね「♪こぶた♪たぬき♪きつね♪ねこ」4体の紙コップの人形が大きな口を開いて歌い、首を伸ばして左右に振りながら踊ると、子どもたちは色と動きに引き付けられ釘づけ。最前列でお膝の中の0歳児がよく見ている。ウレタンロボットのおかしさが子どもたちの興味を引き出したのか、1人 2人とけこみの前に出た。トランクの人形劇のカエル君が出てきたときには、気持ちを誘われた子どもたちが3~4人で出てきて人形を見上げ、時折親のところに戻ってくる。前に出てきた子どもたちをママたちは無理に引き戻すこともせず、そうした子の表情も楽しむかのような雰囲気が流れた。日常広場で顔見知りということもあって、親同士も親しそうで緊張感のない空気感が漂っていた。お土産のゲロゲロカエルの声が出る納富さん手づくりの紙コップ人形を、わが子に向かって歌を歌いながら動かした。それにニコッとする子どもや、自分で動かそうとしている子どももいる。楽しかった余韻をたっぷり楽しみ、納富さんたちの人形であそぶ時間があることはとても大事で、この時間で親子の満足度は一段と高まった。

保護者からの声

- ・ウレタンの可能性を感じました。お家でも遊びたいです。最後に一緒に参加できたのが楽しかったようで終わった後もずっとカエルの合唱を歌っていました。
- ・子どもに初めて人形劇を見せたので、ちゃんと見れるか心配だったのですが、楽しい劇で笑ってくれたし楽しんでくれたみたいなのでよかったです。また見たいです。

施設関係者からの声

・親子が一緒に楽しんでいる様子がみられて私も嬉しくていやされた。・やはりプロで熟練されているので、小さい子どもでも飽きずに興味をもたせて心をひきつけたのはとても良かった。工夫されていた。のうとみさんの好奇心が大切ということ心に響いたのでひろばでも伝えていきたい。

(コーディネーター 滝口淳子 中村雪江)

実施施設：印西市ふれあい文化館

プログラム名：「歌子さんの笑顔のコンサート&楽器あそび」



施設名：印西市ふれあい文化館 多目的室

実施日時：2022年 10月 5日（水） 10：30～11：30

参加者：総数 50人

①子ども 21人（0歳：4人 1歳：15人 2歳：0人 3歳：2人）

②大人 29人（保護者21人 施設職員1人 行政6人 地域：いんざい子ども劇場1人）

スタッフ数：パフォーマー2人（歌子さん ぴんたろーさん）

コーディネーター2人（鈴木佳子 白鳥みゆき）

プログラム内容

ほぎうた ・お祝い 朝ー自然 夜ー虫たち（虫の名前を言って、身体をタッチ）しあわせのうた ・
ぴんたろーさん 楽器でお話 ・一人一人名前を呼んで前に出て「生まれてきてくれてありがとう」「産んでくれてありがとう」 ・自由に楽器に触れる

当日の様子

- ・1人の男の子。興味津々で前へ出て行って歌子さんの側へ行ったり、楽器を見たり。自由に動き回っていた。お母さんは連れ戻そうとしたが、歌子さんが目くばせで大丈夫と伝えると、気にしながらも見守っていた。時々お母さんのところへ戻ってきて、顔を見てニコニコ笑顔。空間と音楽を存分に楽しんでいるようだった。
- ・虫の名前で体のあちこちをタッチされて子どもたちは、ひっくり返ったり、大きな声で笑ったり、次はどこかな？と期待して待ったり、とても楽しそうだった。その様子にお母さんたちも笑顔。
- ・子どもの名前を呼ばれ前へ出たお母さんたち「ありがとう」の言葉がけに笑顔。嬉しさや誇らしさも感じられた。七つの子の歌が心地良かったようで、一番後ろにいた女の子が眠ってしまった。
- ・色々な楽器に興味を持ち、1つの楽器に集中する子と、次々色々な楽器を手にする子と様々だった。
- ・遠巻きに他の子の様子を見ていて、なかなか入っていけない女の子。おばあちゃん？に促されて触れることができ、その後は他の楽器にも触れることが出来ていた。1歳未満の男の子がバチを持ち、打楽器をたたく姿にみんながビックリ。ぴんたろーさんは、思わず動画を撮ってしまうくらい興奮していた。子どもの中にある予想を超えた力に圧倒された。

保護者からの声

- ・歌子さんの優しい歌声に少し泣きそうになりました。本日はありがとうございました
- ・色々な楽器に触れられて親子で楽しめた。小さい子も知っている曲なども、もう少しあると子どもも飽きずに最後まで楽しめたかなと思いました。また、参加したいです
- ・リズムに合わせて、体を動かしたり楽しかったです。生の演奏がとても良かったです。
- ・興味深く見たりきいたりしていた80% また参加したい100%

施設関係者からの声

- ・語りかけのような歌で、ずっと体に入ってきた。癒された。 ・楽器を自由に触ることができて、いい体験になった。 ・歌子さんの声がしみた。ママたちの安心した顔が見られて良かった。
- ・それぞれの年代で楽しめた。芸術文化は心の栄養。 （コーディネーター鈴木佳子 白鳥みゆき）

実施施設：市原市辰巳保育所
プログラム名：「にこにこげきじょう」



実施施設 市原市辰巳保育所

実施日時 2022年10月6日(木) 10:00~10:40

参加数：総数 56人

①乳幼児 23人 (0歳児：6人 1歳児：17人 ホール入口の窓越しに3歳児2人)

②大人 33人(保護者23人 施設職員 8人 行政1人 地域：1人)

スタッフ数：パフォーマー2人 (人形劇団のはな 納富俊郎 納富祥子)

コーディネーター2人(中村雪江 船山慶子) スタッフ：桑原信子

プログラム内容

・ぶたぬきつねこ ・ウレタンロボット・むしゃむしゃくん・ピョンチャンとケロチャン：大きな紙コップの中のカエルが「♪かえるのうた」合唱 ・くねくね ・ねんねんねこのこもりうた

当日の様子

大きな紙コップの中から「♪こぶた♪たぬき♪きつね♪ねこ」と明るい色の人形が出て歌う。普段はお母さんやお父さんと離れての保育時間に、今日は一緒。嬉しくてはしゃぐ子どもや、お膝の中に安心して座っている子どもがいる。人形劇が始まると、じっとみている子、動き回る子、真似する子、「あ、あ、」と指さす子。お花の人形が「エグザイル～」と首をグルグル回すと、お母さんと子どもが顔を見合わせて笑っている。

カメレオンがハエを取れなくて、大きな声で「ザ・ン・ネ・ン～」みんなが笑っている。「ピョンチャンとケロチャンの「かえるのうた」ではカエルと一緒にジャンプする子、リズムに合わせて踊っている子どももいた。終わってから「こんなに子どもが集中して見ていたのでビックリした。」と母親が話してくれた。何度みても楽しい人形劇で、ただの人形が納富さんに命を吹き込まれ動きだすと、それぞれが人格を持ち始める。技術も素晴らしいが、ユーモアのセンスも超一流。思わず笑ってしまう。今日の辰巳保育所の親子も人形劇を生で見るのは初めてだと思う。感動や驚きでプラスの感情で帰った保護者がほとんどだが、子どもが静かに見ないで動き回った保護者は気持ちが重くなった様子がある。今日を懲りずに見続けてほしいと思う。日々子どもは成長し変化するもの。

保護者からの声

- ・子どもがすごく興味を持っていて、一緒に参加できてよかったです。また機会があればぜひ参加したいです。
- ・アンケートから：わらっていた 興味深く見たりきいたりしていたが多数。また参加したい100%

施設関係者からの声

・「プロのパフォーマーだなあ すごいなあ」と感じ、夢中になっていました。子どもたちの笑顔もたくさん見ることができ、とてもうれしかったです。親子での時間がなかなか作れないものです。子育ての支援としてそういった時間を大切にしたいと思いました。

(コーディネーター 中村雪江 船山慶子)

実施施設：千葉市いろは保育園
プログラム名：「にこにこげきじょう」



実施施設 千葉市いろは保育園

実施会場：TKP ガーデンシティ千葉 アンダンテ

実施日時 2022年10月7日(金) 10:00~10:40

参加者数：総数 44人

①乳幼児 34人 (0歳児：5人 1歳児：15人 2歳児：14人)

②大人 10人(施設職員 10人)

スタッフ数：パフォーマー2人(人形劇団のはな 納富俊郎 納富祥子)

コーディネーター2人(大森智恵子 大塚るい) スタッフ：笠原直子 中村雪江

プログラム内容

- ①こぶたぬきつねこ ②ウレタンロボット ③むしやむしやくん 紙袋でカエル、カミレオン、ウサギをつくってハエ、ニンジンを食べる ④ピョンちゃんとケロちゃん
- ⑤くねくね ⑥ねんねこねこのこもりうた

当日の様子

- ・雨の中、ビニールシートの屋根付きの避難車に乗せられてやってきた。おんぶされてきた子も友だちと手をつないで歩いてきた子もいた。
- ・緊張した様子だったが、劇が始まると一番前で動かず見入っている子、保育士にくっついてじっと見ている子、どの子も釘付け状態だった。
- ・一緒に「こぶたぬきつねこ」を立ち上がって、体をゆすって歌ったり、指さしたり、手拍子していた。
- ・保育士がコップんこを動かすと喜んでさわったりしていた。
- ・子どもたちは普段から TKP ガーデンシティ千葉に慣れていることがよくわかった。安心してビニールシートに寝そべったりリラックスしていた。保育士のみなさんから大切にされていると思った。

保育者の声

- ・台本や人形の動かし方を行っていたというより、人形の世界、人形そのものに「なっていた」といった風に感じました！用意していたものをしていいるのではなく、生活を共にしている感覚で楽しかったです。
- ・子どもたちがとても楽しそうで、保育の中でも声のトーンの変化や表情を取り入れさせて頂きたいと感じました。ありがとうございました。
- ・子どもたちの夢中で真剣に見ている姿が印象に残っています。なりきって演じることはとても大切だと感じました。ありがとうございました。
- ・話術、技術、メッセージ、コミュニケーション力等プロならではの力、アンケートから：たのしそだった100% わらっていた 興味深く見たりきいたりしていた等多数。
- ・プロのパフォーマーの力を、話術、技術、メッセージ、コミュニケーション力等プロならではの力、美しさ、自由さといった五感を刺激するアートをリアル体験できると応えている。

(コーディネーター 大森智恵子 大塚るい)

実施施設：袖ヶ浦市平岡公民館
プログラム名：「 にこにこげきじょう 」



実施施設 袖ヶ浦市平岡公民館ホール

実施日時 2022年 10月 11日(火) 10:30 ~ 11:10

参加数：総数 25人

①乳幼児 9人(0歳児：3人 1歳児：2人 2歳児：4人)

②大人 16人(保護者 9人 施設職員 3人 行政1人 地域2人 子ども一歩袖ヶ浦1人)

スタッフ数：パフォーマー2人(人形劇団ののはな 納富俊郎 納富祥子)

コーディネーター2人(岡田泰子 中村雪江) スタッフ：田中直子

プログラム

- ・ぶたたぬききつねねこ ・ウレタンロボット ・むしゃむしゃくん ・ぴよんちゃんとケロちゃん
- ・かえるの歌 ・くねくねくん ・みんなで人形持ってかえるの歌で遊ぼう
- ・終了後ふれあいタイム 納富さんが芋虫くん、祥子さんが黄色い犬、それぞれ人形をもって、子どもに語り掛けふれあい交流をする

当日の様子

遅れてきた親子がいて、少し心配しましたが、「おかあさ〜ん」とロボットが引っ込んだところで、「お母さんどこにいったのかなあ」とつぶやいて、「あ〜観ている」と安心しました。ウレタン人形の精巧さは、お母さんたちの方が見入っていました。緊張感が高いように感じましたが、途中子どもたちが立ち上がり、指をさしたり、笑ったりし始めたので、やっと会場全体もふぁっとしました。大きなお花などを怖がった子もいて、お母さんにしがみついていた。0歳の赤ちゃんが良くみていました。そのうちすやすやと眠っていました。交流の時間に、間近に人形がきて、ようやく子どもたちは親近感がわいたように思います。固い会場の雰囲気も影響したでしょう。

昨年から実施を強く希望され、実現しました。しっかりと仕事を館の方がされていました。公民館での乳幼児ワークは、2館の家庭教育学級を中心にお誘いされたそうで、子ども同士も日常的な関りがなかったからでしょうか、なんだか静かでシーンとしていた感じです。乳幼児施設との違いを感じたワークでした。定員12組中、3組欠席があり残念。

保護者からの声

- ・3か月の子どもですが興味をもってみていました。大人もとても楽しかったです。
- ・カエルのおもちゃが気に入って遊んでいます。 ・笑ってみていました。とても楽しかったです。

施設関係者からの声

- ・緊張や人見知りしていた子もいましたが、すぐに真似て楽しんでいる子もいました。知っている曲に反応したり、ずっと泣いていた子も最後には、バイバイ、タッチもできました。外部の方、プロの方に来て頂けるのは子どもたちにとって刺激になるので良いと思います。
- ・生の劇はなかなか見られるものではないので、良い経験になった。お子さんのいろいろな反応もとても面白く、今後の講座の参考になると思った。

(コーディネーター 中村雪江 岡田泰子)

実施施設：佐倉市臼井老幼の館

プログラム名：「 にこにこげきじょう 」



実施場所：佐倉市臼井老幼の館

実施日時： 2022年 10月 13日（木）10:30 ～ 11:10

参加者数：総数 34人

①乳幼児 11人(0歳児：3人 1歳児：8人)

②大人 23人(保護者：11人 施設関係者：8人 地域：4人)

スタッフ数：パフォーマー 2人（納富俊郎 納富祥子）

コーディネーター2人（滝口淳子 中村雪江）

プログラム内容

こぶたためききつねねこ ウレタンロボット むしゃむしゃくん ぴよんちゃんとケロちゃん かえるのうた くねくね ねんねこねこのこもりうた 可愛い紙コップ製「げこげこカエル」で交流

当日の様子

こぶたためききつねねこが始まると、舞台に釘づけとなり、色合いのはっきりした4匹の出たり入ったりをじーっと見ている。一気に場が和む。ウレタンロボットが登場すると、そのスタイルにお母さんたちの笑い声が出始める。納富さんのゆったりとしたせりふと良い声をききながら、要所所で笑い声がおきる。と、子どもたちは会場を包む笑い声に安心するかのようになり、抱っこされじーっと集中して舞台を見つめている。一番前でとても集中していた男の子、黄色い犬が出てきたら犬をじーっと見ていたと思ったら「わーっ」と泣き出した。その愛らしい仕草を見て、お母さんたちが笑う。

「むしゃむしゃくん」が何をしているとかは年齢的にまだわからない子どもたちだが、食い入るようにその動きと語りを聞き、逃さないかのように見ている。カミレオンがハエを捕るのに失敗すると「ざんねーん！」の納富さんの絶妙なタイミングの一言に、会場中が笑いが起きた。終始和気あいあい楽しんでいた。0歳児はひたすら目をひらいてじーっと見て音を感じている様子。1歳児は多様な反応をしつつ、場合によってはお母さんが気になり、ふりむき、一言発してみたり、一緒に楽しんでいる様子が見てとれる。

保護者からの声

- ・初めての人形劇で、人形に触れさせてもらったり、一生懸命指さしたりしていた。
- ・身近な動物が出てきて興味津々の様子でした。手づくりのできる人形で遊べるのがすごい！お家に帰ってやってみようと思いました。
- ・とても楽しかったです。お土産のカエルもうれしいです。やさしく接して下さってうれしかった。
- ・月齢が小さいので楽しめるか心配でしたが、じっくり見ていました。親も楽しめました。
- ・アンケート：楽しかった いやされた うれしかった多数あり。また参加したい100%

施設関係者からの声

- ・とても楽しくみました。保育の日々に取り入れたいと思います。
- ・作り方等たくさん教えて頂き、うれしくてすぐに作ってみたくなりました。
- ・0歳の赤ちゃんも引きつけ、じっと見ていたので驚きました。生で観れたことが親子にとってとてもよかった。
- ・ウレタンを使つてのパフォーマンス等とても興味深く、楽しく引き込まれました。

（コーディネーター 滝口淳子 中村雪江）

実施施設：市川市妙典保育園地域子育て支援センター

プログラム名：「歌子さんの笑顔のコンサート・楽器あそび」



実施場所：市川市妙典保育園地域子育て支援センター

実施日時：2022年10月14日（金）10:30～11:10

参加者数：総数 30人

① 乳幼児 13人(0歳:3人 1歳:10人 2歳: 3才: その他:)

② 大人 17人(保護者:13人 保育士:1人 施設関係者:2人 行政:1人)

スタッフ数：パフォーマー 2人（歌子さん ぴんたろーさん）

コーディネーター2人（宇野京子 買場都明）

プログラム内容

はじめまして、おなまえよびますよ シャボン玉 ほっぺにちゅ、ぴんたろーさんの楽器あそび
金太郎 ゆりかご

当日の様子

初対面にもかかわらず、ウキウキしたリズムが刻まれると子どもも大人も体が自然に弾み始め、緊張がアツという間にほぐれた。0歳児も歌子さんの優しい歌声で名前を呼ばれると、目をじっと合わせ見開いたり、笑ったり、口を開けて真似をしたり。歌での語りかけにお母さんたちも皆歌って返す。リズムと歌声が笑顔を呼び、音楽を楽しみあう仲間として、早くも心がつながっている。「次の曲は」と歌子さんがリアルシャボン玉を吹くと・・・さっきまでのにぎやかなシェイクが一瞬にして、身じろぎ一つしない集中に変わる。子どもたちの引き込まれ方がすごい。好奇心や期待いっぱいの顔は、シャボン玉のキラキラした輝きと重なり、美しい歌声が包む。キレイ！と歓声を上げたお母さんたちも、抱っこで一緒に歌うと自然に体が揺れていた。

ほっぺにちゅでは身をよじって笑ったり逃げ出したりする子、一生懸命子どもの顔をのぞき込むママ、楽しそうな抱っこ遊びでとても賑やか。部屋になかなか入れず抱っこで端にいた子が、いつの間にかママの前に立ち上がり、体が自由に動いて素敵なノリノリダンス。

楽器遊びではぴんたろーさんの転がす太鼓を、こわごわ手を伸ばし転がし返す乳幼児。金太郎では抱っこで高くジャンプするママ、体がどんどん動き出す楽しくてたまらない時間でした。

保護者からの声

・子どもが楽しんでくれたらと思って参加しましたが、親の私がとてもいやされ、感動しました。子どもが踊っていて楽しそうでした。・ワークショップ型コンサートは初めてだったので、子どもも私もとっても楽しむことができました!! 落ち着きがない我が子ですが、お歌ではしっかり聴き、楽器では沢山さわらせてもらいとても嬉しそうでした。また参加したいです!!

施設関係者からの声

歌子さんの声の美しさ、ぴんたろーさんの人をひきつける間の取り方など、見習いたい。いつもと違うお母さんたちの明るくのびのびした表情に出会えた。お母さんたちが笑ったり、嬉しそうにすると、子どもたちも笑えるということ、改めて実感することができた。

行政からの声

・今日は大きな音や楽器デビューの子ども達だったと思う。幸せそうな顔で愛のシャワーをたっぷり浴びていた。この瞬間を生で見て一緒に共有してほしい。

（コーディネーター 宇野京子 買場都明）

実施施設：成田市子ども館なかよしひろば

プログラム名：「歌子さんの笑顔のコンサート&楽器あそび」



実施会場 成田市子ども館なかよしひろば

実施日時 10月26日(水) 11:00 ~ 11:40

参加数：総数 28人

① 乳幼児 10人 (1歳児：8人 2歳児：2人)

② 大人 18人(保護者 10人 施設職員 5人 行政 1人 地域 2人 (子どもプラザ成田))

スタッフ数：パフォーマー2人(歌子さん ぴんたろーさん)

コーディネーター2人 (滝口淳子 中村雪江)

プログラム内容

ごあいさつの歌「はじめまして」 シャボン玉 シャボン玉とんだ あめふりくまさん お花がさいた
ほっぺにチュ まさかりかっただきんたろう ママの笑顔が最高のおくりもの 楽器あそび

当日の様子

最初はじーっと歌子さんを見つめ、名前を呼んでくれるのを不思議そうに見上げ、慣れてきたら音に反応した女の子、前へ前へと出ていく。お母さんはヒヤヒヤの様子だが本人はどこ吹く風。ピンちゃんのおそばに行き目と目を合せ、ピンちゃんの掛け声に合わせて「オー！イエイ！」とノリノリ。「あめふりクマの子」の時は腹這って足でリズムをとりながら見ている1歳児はどの子も歌の世界に入っている。大人は歌子さんの歌声に体を揺らし、癒されリラックスしているので、子どもたちにそれが伝わって前に出てくる子が二人、三人と増えてくる。

ぴんたろーさんがドーナツ型の金属の音がする輪っかを子どもに転がすと、お目目キラキラ男の子が拾い、ピンちゃんの手持棒をじーっと見ている。誰も何も言わない。ピンちゃんが表情と擬音と簡単なジェスチャーでコンタクトすると不思議不思議！棒に輪っかを差し入れる。入った時のニッとする得意げな顔。ピンちゃんと子どもたちとの「あ・うんの呼吸」と応援とハラハラなお母さんたちとスタッフの創り出す空気感が、楽しい。ひとしきり遊んだらリズムカルな金太郎に合わせてお母さんのお膝に座ってジャンプジャンプ！この上なく楽しさ満開。息をととのえて「ゆりかご」を歌っておしまい。興味津々、身体もよく動く子は、自分から好きな楽器を見つけてどンドン遊ぶ。ジャンベ叩いて驚いたり、長い棒を振り回しながら鐘や鉄のベルを叩く子も。カリンバに興味のあるお母さんも、嬉しそうにはじいて音を出している。とっても楽しい自由な時間を過ごして、子どもが満足する時間をとって納得してそれぞれ退室となった

保護者からの声

- ・おうたがとてもじょうずで、パフォーマンスがおもしろくて、最高の時間になりました。ファンになりました。
- ・とてもキレイな歌声でいやされました。普段 走り回ることが多い子ですが、たくさん興味をもち、集中する姿に私もうれしくなりました。ぜひまた参加したいです。

施設関係者からの声

- ・ゆったりした雰囲気でお母さんたちが笑顔でリラックスしているように感じました。最中にお膝から離れてしまった子に対し、言葉のかけ方や誘い方に技術を感じました。

(コーディネーター 滝口淳子 中村雪江)

実施施設：市原市鶴舞保育所

プログラム名：「なんだろな なんだろな？」



実施場所：市原市鶴舞保育所

実施日時： 2022年 10月 27日 (木) 10:00 ~ 10:40

参加者数：総数 32人

① 乳幼児 13人 (0歳児：2人 1歳児：3人 2歳児：6人 3歳になったばかり：2人)

② 大人 19人(保護者 12人(母 11人 祖父母 1人) 施設職員 7人)

スタッフ数：パフォーマー 1人 (うさぎの森企画 大森靖枝)

コーディネーター2人(鈴木佳子 中村雪江) スタッフ：椎名好子

プログラム内容

手をたたく・たたかない かんこんかんこん♪なんだろな? 「かくれている絵をあてる」 「りすさんとどんぐりのおはなしあそび」 マヨネーズの空容器で作った楽器でシュッシュポッポ おおちゃんに届いたお手紙のおはなし お山をのぼる カミナリだ! 雨ざーざー アコーディオンで♪楽しく歌っておしまい 虹が出た! 終了後 手づくり楽器に触れたり音を出す交流

当日の様子

太鼓に合わせて手をたたく たたかない 親子で喜ぶ合うリアクションはすごくいい。なんだろな? では「うさぎ! ニンジン!」と声上がる。当たると親子で喜んでいた。

りすさんのお口がどんぐりでいっぱいになるお話で、お母さんが子どもに食べさせてあげたり、自分でも食べる振りしたりして親子で落ちているどんぐりを拾って食べる。いっぱいほおぼった。マヨネーズの空容器の音に、お~!! とびっくりしたお母さんの声あがった。マヨネーズ笛でしゅっしゅっぽっぽっ と声を出し振りをつけて遊んだ。チューリップの歌もマヨネーズ笛で奏でた。すごい! 親子で体をゆすりながら歌った。助手のさあちゃんが、届け先をおおちゃんに伝える。郵便やさんのお手紙の配達、子どもたちに道順を聞きながら会場をぐるぐるしながら配達する。かくれんぼでは、「もういいかい? もういいよ」。うさぎさんを見つけて喜ぶ。かくれているクマさんをおおちゃんに教えてあげていた。雨が降ってきた。きゃ~思わず手で頭を覆う。固い紙をたたきながら雷の音、雨の音など擬音を出す。最後はうさぎさんとびよんびよん、子どもたち立ってびよんびよん飛んでいた。

保護者からの声

- ・音、動き、子どもも興味津々で楽しんでた。子どもと1対1で過ごす時間がうれしかった。
- ・家にあるもので作れそうなおもちゃがたくさんあったので、家でも作って遊んでみます。
- ・とっても楽しかったです。ちょうちょと、咲いた咲いたの歌が楽しかったようでニコニコしていました。最初のピョンピョン、ドスンドスンもニコニコでした。また来て下さい。

施設関係者からの声

- ・大森さん(おおちゃん)の表現力や何とも言えないほっこりした安心感で、とても良い時間が過ごせました。マヨネーズの笛!! ぜったいにやりたいです。
- ・楽しい雰囲気先生の動きや色々な音に、子どもたちもよく見たり聴いたりしていました。

(コーディネーター鈴木佳子 中村雪江)

実施施設：八千代市社会福祉協議会

プログラム名：「歌子さんの笑顔のコンサートと楽器あそび」



実施場所：八千代市福祉センター2F 会議室

実施日時：2022年 11月 4日（金）10：30 ～ 11：30

参加者数：総数 39人

① 乳幼児 16人（0歳：8人 1歳：5人 2歳：3人）

② 大人 23人（保護者：17人：施設関係者4人：地域：2人）

スタッフ数：パフォーマー 2人（リーフ企画 歌子さん びんたろーさん）

コーディネーター2人（綿貫のぼら 棚田純子）

プログラム内容

「HOGIUTA」

絵本で遊ぼう しあわせのはかりかた（歌） うまれてきてくれてありがとう

びんたろーと楽器で遊ぼう ななつのこ（歌）

当日の様子

びんたろーさんが太鼓をたたきながらお出迎え、何がはじまるのかよく分からない赤ちゃんたち、太鼓や音の出る楽器に興味があるのか目で追っている。

2才くらいの男の子は太鼓の前に座り込み興味津々。お母さんが歌子さんのうたのリズムに合わせて体をゆする。赤ちゃんたちも心地良さそうにお母さんに抱っこされている。

「しあわせのはかりかた」みんなジーときいている。舞台においてある太鼓にめがけやってきた男の子、ジーとみて立ち尽くしている。少し大きな男の子はスピーカーが気になるのかスピーカーの前に座り込み聞いている。途中、隣の赤ちゃん同士が見つめ合っている。1才くらいの女の子がにっこり笑顔、お母さんに振り向きまた笑顔、あまりのかわいさに気がついた周りのお母さんたちも笑顔。

「うまれてきてくれてありがとう」みんなでダンスをした後、一人一人の名前を呼び、前に出てもらう。「〇〇ちゃん うまれてきてくれてありがとう、生んでくれてありがとう！」と歌うとお母さんたちが嬉しそうな笑顔、見ているお母さんたちも笑顔。

会場全体があたたかい、楽しい、雰囲気になった。中には目に涙をためていたお母さんもいた。

保護者からの声

- ・楽しかったです。0さいでも参加できるコンサート嬉しいです。
- ・不覚にも泣けてしまいました。とても幸せを感じることができました。
- ・とても歌が上手でいやされました。
- ・名前を呼んでもらって前に出て、とってもうれしかった。

施設関係者からの声

- ・とても社会福祉会の会場とは思えない空間ができていました。
- ・急遽地域のボランティアさんも参加され今後につなげていきたい。

コーディネーター（綿貫のぼら 棚田純子）

実施施設：香取市子育て支援センターにこここ

プログラム名：「手作り楽器で音あそび&フィーリングパフォーマンス」



実施施設：香取市子育て支援センターにこここ (山田公民館)

施設会場：テラスサンサン 和室

実施日時 2022年 11月 8日 (火) 10:30:~ 11:00

参加者数：総数 33人

①乳幼児 16人 (0歳児:2人 1歳児:10人 2歳児:3人 その他3歳以上:1人)

②大人 17人 (保護者 15人 施設職員 2人)

スタッフ数：パフォーマー2人 (CAN 青芸 浅野佳砂音 中ムラサト子)

コーディネーター2人 (中村雪江 滝口淳子) スタッフ：椎名好子

プログラム内容

美しい青の布に、赤でぐるぐる模様がかけられたパネルがまあるく、親子を取り囲み、入口通路と真ん中に円形の演じる場があげられている。子どももお膝の上で2人のパフォーマーの動きを観る。サト子さんの 口琴・カリンバ・太鼓などの手作り楽器と独特なボイスパフォーマンスが不思議な世界・空気感をかもしだし、かさねさんと、たべる、わらう、ねる、なく、おこるを遊ぶを、言葉なしでフィーリングパフォーマンスで演じる。

当日の様子

目の前で2人が動き回っているのを、小さな子はじーっと観る。ぼかんとしている子もいる。少し大きな子は動きで何を表現しているか感じて、ニコッ フフフという顔をする。2人がパネルの回りを追いかけてこしたり、かくれんぼしたり、出たり引っ込んだり、真ん中に戻ったりスピードのある動きをする。それを子どもたちは目と体で追いかけて、一斉に同じ方向を向く。2歳児が立って見始める。何人かが一緒に立って、おどったり、ニコニコしながら真似たりしている。反応して声も出た。2人の動きにはストーリーがあって、かさねさんがバタリと畳に寝ころんだ。足をばたばたさせていやいやをしている。そのうち静かになって寝てしまったようで動かない。サト子さんがつつく。反応なし。子どもたち「どうしたの？」という顔で心配そうな表情をする。鼻をつまんだり、胸とつんつんしたりして、やっとながらりと起き上がった。

小さな動くものが子どもたちの頭にとまったり、それをやさしくつかまえたり、果物をもいでたべ、それを子どもたちに「食べる？」という仕草ではたらきかける。口を開けてパクリもぐもぐする子もいれば、嫌だと顔をそむける子もいる。「そうかそうか だいじょうぶだよ」と言うように、子どもの頭を優しくなでる。大人も童心に戻ったような気分になり、言葉の全くないお芝居の表情や動き、リズム、ふしぎなカリンバや口琴音もすごく伝わって来るものがあって、言葉はなくても感じ合うことができた。

保護者からの声

- ・子どもと一緒に飛んだり踊ったりしてしまいました。とっても楽しくみせてもらいました。ありがとうございました。
- ・言葉を話さなくても表情や音で想像しながら楽しめました。非日常を体験できて面白かったです！

施設関係者からの声

- ・子どももお家の人も一体となって、リラックスして、表現することの楽しさの世界へと入っていく様子に、私もワクワクしました。五感を刺激するアートに触れる機会がもてて、子どもたちやお母さんの笑顔が広がって嬉しく思いました。
(コーディネーター中村雪江 滝口淳子)

実施施設：佐倉市北志津児童センター

プログラム名：「手作り楽器で音あそび&フィーリングパフォーマンス」



実施場所：佐倉市北志津児童センターホール

実施日時：2022年11月9日(水) 10:30 ~ 11:10

参加者数：総数 43 人

①乳幼児 16人 (0歳児：1人 1歳児：10人 2歳児：4人 その他：3歳1人)

②大人 27人 (保護者17人(母15 父1 祖父母1) 施設職員7人 行政1人 地域2人)

スタッフ数：パフォーマー2人 (CAN 青芸 浅野佳砂音 中ムラサトコ)

コーディネーター2人 (中村雪江 滝口淳子) スタッフ：鈴木佳子 桑原信子 買場都明

プログラム内容

不思議な衣装を着けた二人組。一人は太鼓を叩きながら、不思議な楽器で不思議な音が出て不思議な言葉(音)が口から出ている。音楽なのかおしゃべりなのか。鬼ごっこのようなことが起きたり、隠れたり、けんかしたり、仲良くなったり、寝転んだり、客席の真ん中や周りで走ったり。おいしそう、くだものを食べたり、ポケットにしまったり、見ている子どもにも、お母さんにも食べさせたり。見ている人も想像しながら自由な空間で遊んでいる。太鼓や口琴、カリンバなどのリズム。一足一足 ぐるぐる おいかけっこ もっとぐるぐるかくれんぼ いないない ひとりぼっち オノマトペと不思議なからだ とことこ もっととことこ もぐもぐ みんなにあげる フィナーレ紙吹雪

当日の様子

目の前で2人が動き回っているのを、上向きにじっと見ている子、ポカンとしている子、目をキラキラさせて食い入るように見ている子、太鼓のリズムにあわせてダンスを踊っている子。そのうち子どもが声を出して笑った。その声でみんな少し気持ちがほぐれ、1歳の子たちも動き回る2人をずーっと目で追っている。いっしょに遊ぶ 追いかける かくれんぼする、ぐるぐるまわる、楽しい 嬉しい 悲しい 泣く いやだいやだ もぐもぐおいしそうに食べる みんなも食べる? あ〜ん 寝転ぶ 驚く、様々なあそびの世界や、様々な感情表現が次々と展開する。子どもとかかわりあって食べるまねっこ、小さな生き物が子どもの頭に止まってそれを捕まえる、2人の動く方へ、子どもたちの目と体が向く。お母さんに後ろ向きに抱っこしてもらっていても振り向きながら、じーっとくぎづけになっている。その集中力たるものすごかった。30分間集中していて、太鼓に合わせて自然にジャンプして、踊りだした子もいた。お母さんもゆったりして見ている。自由に歩き回っている子も施設のスタッフのサポートで、お母さんも子どもを追いかけることなく、声を出して笑っているお母さんの幸せそうな顔・顔。

保護者からの声

- ・「こんなに子どもが集中して見るとは思わなかったです」と感激していた。
- ・誰がみても、うれしさ、あたたかさを感じることができ、子どもの様子を見ても嬉しくなった。
- ・言葉がなくても音や声でこれだけ楽しめるものだとわかり楽しかった。
- ・アンケートから：楽しかった うれしかった ほぼ100%。また参加したい100%。再演してほしい。

施設関係者からの声

- ・一瞬でパフォーマーに引き込まれていて、子どもたちの目の輝き・・・忘れられない1日となった。
- ・ぜひこうした機会を、来年も再来年も与えていただけたら嬉しいです。

(コーディネーター 滝口淳子 中村雪江)

実施施設：鎌ヶ谷市栗野児童センター

プログラム名：「わらべうた おはなしのじかん」



実施場所：鎌ヶ谷市栗野児童センター多目的室

実施日時： 2022年 11月 10日 (木) ◆第一部 10:30~10:50 ◆第二部 11:10~11:35

参加者数：総数 32人

①乳幼児 13人(◆第一部 0歳児~1歳児：7人 ◆第二部 2歳児：6人)

②大人 19人 (◆第一部 保護者8人 施設職員2人(一部と二部) 行政職員3人◆第二部 保護者6人)

スタッフ数：パフォーマー1人 (大沢 愛)

コーディネーター2人 (大森智恵子 中村雪江) スタッフ：買場都明

プログラム内容

- ①ちよちよちあわわ ②ちっちこことまれ！高い高い！ ③ しおぶりこぶり塩んなかポチャ〜ん ④
ぎっこんぱったんちゃんころり〜ん ⑤てんこてんこてん ⑥かごかご16文
⑦てってのねずみ ⑧小さな鈴を鳴らす ⑨さよならあんころもちまたきなこ ⑩四角い大きい布を広
げた空の下に全員が入って ⑪トンボ トンボ目をまわせ

当日の様子

- ・愛さんのやさしい語りかけ「チッチッチ…」とはじまると、おかあさんが人差し指をのぼして膝の上の子の足にそっと触れるとじーっとみている子、ポカーンとしている子
- ・「…ネズミが棚から落ちて猫におわれてクチュクチュクチュ」キャハキャハと声をあげはじめた。2歳児は足をクチュクチュされるとアハハハと楽しんでいる。
- ・じーっと目を追っている月齢の低い子、アワワワと一緒に口に手を当てて声を出す月齢の高い一歳児。
- ・大きな布の下に入ってパチパチと拍手がおこる。終わってももっと続けたい声があがる。
- ・塩ぶりこぶりでは、抱っこ振り方、ぼちゃんの大きさ、我が子の反応に合わせて変化していき、親子によってみんな違う。親子で作りに出すそれぞれのわらべうた遊びの醍醐味。愛さんのゆったり、ゆっくり、美しい歌声の醸し出す空気が、お母さんのリラックスを引き出して子どもと向き合う楽しさに、気づかせてくれている。

保護者からの声

- ・とてもきれいなステキなお声で、私がいやされました。カンタンなあそびも教えていただいたので、うちでやってみようと思います。
- ・わらべうたを初めて聞いたりやったりして、子どもも親も新鮮で楽しかったです。子どもが真剣に何やってるんだろう？と見ていたり、ニコニコ楽しそうにしている表情をたくさん見ることができました。

施設関係者からの声

- ・でやってもらって、同じ歌でも反応が変わって出て面白かった。美しい声に癒された。ぐずぐずしていた子ども歌声にパッと振り向いてとてもいい表情だった。
- ・大沢先生のやさしい話し方、美しい歌声など、親子の職員も癒されました。きれいな布を使ってのあそびで、子どもたちのかわいい表情、笑顔が見られ、是非児童センターでもやってみたいと思います。

(コーディネーター 大森智恵子 中村雪江)

実施施設：市原市牛久認定こども園

プログラム名：「歌子さんの笑顔のコンサートと楽器あそび」



実施施設 市原市牛久認定こども園

実施日時 2022年 11月 22日(火) 15:30～16:10

参加者数：総数 31人

①乳幼児 18人 (0歳児～1歳児：7人 2歳児：11人)

②大人 13人 (保護者 8人 施設職員 4人 地域 1人)

スタッフ数：パフォーマー 2人 (リーフ企画 歌子さん ぴんたろーさん)

コーディネーター 2人 (中村雪江 滝口淳子) スタッフ：船山慶子

プログラム内容

・みんなで歌おう お名前なあに？ ・シャボン玉 ・歌う大型絵 「あめふりくまの子」 「お花が笑った」 ・ほっぺにチュ ・ピンちゃんワールド楽器遊び・金太郎 ・七つの子 楽器に触れて交流

当日の様子

昼寝を終えた0～1歳児が、保護者と一緒に入室。参加人数が5組になってしまったため、元気な2歳児11人が急遽参加した。2歳児が素晴らしく愉快的反応をし、会場を笑わせた。0～1歳児だけだと、静かなコンサートになってしまっただろう。2歳児に合わせてプログラムを組んでもらった。

よろしくね のごあいさつのあと、本物のシャボン玉がふわふわ。みんなびっくりしたがすぐに「わあ〜」と笑顔になった。シャボン玉の歌をうたいながら体をゆらゆら。絵本あめふりくまのこでは「あ！かたつむり てんとうむし」2歳児の声が飛び交う。0歳児は母親のお膝でじ〜っと見ているが、2歳児が動き始めた。てるてる坊主は使わないで、手でいろんなところに触る。きゅきゅきゅくすぐたくて声のでる。ピンちゃんが金のリングを転がしながら、それを眼鏡にして怖そうな顔に。こわ〜いと、保育士さんに抱きつく。

ピンちゃん言葉『◇○※×A△・・・』と身振り手振りが子どもたちに通じ、「わかった 僕がやる！」といわんばかりに、前に出て輪っかを拾って棒にさす。ピンちゃんが喜ぶと、次の子が、「今度はぼくと、ママのお膝から立ち上がってさした。パチパチパチ ピんたろーさんの世界に突入。言葉はいらぬ、子どもたちと通じ合う。立って 立って ♪ジャンプ ジャンプ ジャンプ ジャンプ ジャンプ♪金たろうをうたいながら振りをつける。ピンちゃんが振りをする、お返し反応をして返す。違う振りをする、また違う振りして返す。2歳児の天真爛漫で陽気な動きが会場一気に盛り上げた。午後15:30からの乳児のワークははじめてで、すっかり外が暗くなってしまった。

保護者からの声

・アンケートから：興味深く見たりきいたりしていた 88% わらっていた 楽しかった 88% いやされた うれしかった等多数。

施設関係者からの声

・保護者の様子と子どもの様子がだんだんやわらかくなり、最後は皆笑顔になったのを見て、表現の素晴らしさを感じた。(コーディネーター 中村雪江 滝口淳子)

実施施設：市原市里見保育所

プログラム名：「おやこでいっしょにダンスあそび！」



実施施設 市原市里見保育所

実施日時 2022年 11月29日(火) 10:00~10:40

参加者数：総数 13人

① 乳幼児4人 (2歳児：3人 3歳児以上1人)

② 大人9人 (保護者4人 施設職員4人 地域1人)

スタッフ数：パフォーマー 1人 (安西真幸)

コーディネーター2人 (中村雪江 白鳥みゆき) スタッフ：船山慶子

プログラム内容

真似をしながらベビィシャーク：指先で小さくパクパク 手首で少し大きくパクパク 腕を伸ばして大きくパクパク にゃあ～にゃあ～：ネコになって転げて足を上げる キュッキュッとさする(足 頭 肩 背中 おしり) ブクブク泳ぐ びよ～んびよ～ん トトロのさんぽの曲でダンス 風が吹いてきた！布であそぶ おさんぽ ミッキーマウスの曲で歩く、ダンスをする

当日の様子

どの子もお母さんと一緒にとても嬉しそうできっついて入場。すぐにニコニコ走り回っている。まーちゃんの低い視線からの話かけ「見ていてもいいよ、無理にやらなくていいよ」から、ずっとまーちゃんを見つめ続けている。ママに抱かれて行進、動作は小さくても、真似している。「いいね！」と講師に声掛けされる。とても集中してママと一緒に楽しんでいた。にゃんにゃんと猫の子鳴き声で、ママに絡みつく甘えたポーズでママにアピールしているよう。他の先生たちが声掛けしてもニャー。挨拶もにゃーにゃー。リズムに乗って足がまるで尻尾のように拍子をとって揺れている。ママと手をつないでジャンプ、ビョーンの音に合わせてジャンプ、カエルジャンプ、子ども達は体ごと弾んで、ジャンプがとても大好き、お気に入り。それを見て、大人はすごーいとニコニコしたり大笑いしたり。小さい人たちの動きは、即アートになる。ママたちは、子どもと一緒に遊びながら、擬音を声に出したり、あれ～カエルさん？とか、わあー何がきた？など話しかけて楽しんで一緒に遊んでいた。先生が一人ひとりの子どもをすごく大事にしていた。親子、先生と子どものほほえましい姿をたくさん見せてもらった。

保護者からの声

- ・音に合わせて体を動かすことは、感性が育つのにとても良いと普段から考えているので、とても良い体験ができたと思う。
- ・子どもが慣れるまでに時間がかかりましたが、その後の様子を見てるととても楽しかったんだと感じています。まあちゃん先生の子どもの接し方が上手で安心できました。

施設関係者からの声

- ・体をたくさん動かす内容でしたが、小さい子どもでも飽きずに最後まで楽しめる内容でした。パフォーマーの方が無理なく自然に親子でリラックスできる関りをしていて、とても勉強になりました。
- ・私自身も楽しい時間でした。パフォーマーの声のかけ方がとても引きつけられ勉強になりました。

(コーディネーター 中村雪江 白鳥みゆき)

実施施設：松戸市おやこ DE ひろば小金原
プログラム名：「なんだろな なんだろな？」



施設会場：松戸市おやこ DE ひろば小金原

実施日時：2022年 12月 16日（金）10:30～11:10

参加者数：総数 18人

- ① 乳幼児 8人（0歳児（7か月 9か月）：2人 1歳児：3人 2歳児：2人 3歳児未満：1人）
- ② 大人の 10人（保護者 7人 施設職員 3人）

スタッフ数：パフォーマー1人（うさぎの森企画 大森靖枝）

コーディネーター2人（中村幸恵 中村雪江）

プログラム内容

- ・ピアニカを吹きながら会場を一周り
- ・たたいてたたいてたたかない
- ・なんだろな
- ・トマトの箱で遊ぶ、あなたは誰？
- ・リスさんとどんぐり
- ・マヨネーズの空きボトルの笛、
- ・おーちゃんのおうち探し
- ・うさぎさんとクマさん

当日の様子

なにかな？という様子でお母さんと一緒に参加。顔見知りの広場スタッフと座布団運びのお手伝いで、2歳児女の子たちはテンションもあがり、一気におーちゃんの世界にとけこんでいた。とくに前列の女の子二人は飛んだり跳ねたり走りまわったり。お膝から離れない子もじーっとおーちゃんのしぐさを見つめ声掛けにも集中している。クマとうさぎの鬼ごっこではまーだよ～と声を出していた。少し遅れて参加した、ただ一人の男の子は出遅れ感があるのか、参加のタイミングがつかめない感じだったが、最後はおもちゃを離さずに遊んでいた。

自分なりのペースで参加したり立ち歩いたりしていた女の子も耳や身体中でおーちゃんの歌やお話のリズムを感じていた様子。

お母さんたちがアンケートをかいている間、子どもたちが楽器や光るおもちゃで夢中になって遊んでいたなかに、0歳児（7ヶ月）の赤ちゃんがハイハイで少しずつ近寄ってきて、おもちゃで遊び始めた。いいものみ一つ！との感じ。おーちゃんとイシちゃんのかけあいや、呼びかけ、歌や音を聞きながら、子どもたちは飛び跳ねたり、走ったり、声を出したり、お母さんたちも一緒になったワークショップでした。

保護者からの声

- ・楽しいお話と音楽であつという間に世界に引き込まれました。子どもがいつもより楽しそうに踊っていたのが印象的で、親の方も嬉しくなりました。
- ・じっと座ってられないので、心配もありましたが、笑っているところを見られてうれしかったです。また参加したいです。ありがとうございました。

施設関係者からの声

- ・体験できて子どもたちのキラキラした表情、動き、五感を刺激できてよかったですと思います。
- ・子どもたちはとても楽しそうでした。いつもと違う場所と雰囲気慣れない子も、その時々に関心を持っていたようです。

（コーディネーター 中村幸恵 中村雪江）

実施施設：市原市馬立保育所

プログラム名：「なんだろな なんだろな？」



実施場所：市原市馬立保育所ホール

実施日時：2023年1月12日(木) 10:00～10:40

参加者数：総数 19人

① 乳幼児 8人(2歳:6人 3才:2人)

② 大人 11人(保護者:8人 保育士:3人)

スタッフ数：パフォーマー 1人(うさぎの森企画 大森 靖枝)

コーディネーター2人(中村雪江 白鳥みゆき) スタッフ：笠原直子

プログラム内容

- ・みんなで輪になって「こんにちは！」すぐに「さようなら！」「手をたたこう」「手をたたかない」
- ・絵を見ながら物や果物をあてっこ ・リスとどんぐりのおはなし ・マヨネーズ空容器笛
- ・トマトの箱「トマトントン」が冒険に出るお話 ・お手紙を届けるお話 ・ウサギとクマがあそぶお話
- ・楽器やおもちゃであそぼう ・さよならあんころもち

当日の様子

おーちゃんのハモニカ演奏と助手のうーちゃんが、ピコピコハンマーを鳴らし、ひょっこり顔を見せてくれると歓声のような声が上がリ一気に笑顔。うーちゃん先生が大好き、が伝わってきた。輪になってご挨拶。「こんにちは」と顔を見合わせニッコリ。すぐに「さようなら」に「えっ?!」と驚いたけれど、元の位置に戻って、もう一回。あっという間に心がほぐれ緊張も解けた。開始前に緊張で少し泣いていた子どもも、ピタリと泣き止み、おーちゃんの投げかけに大きな声で応えている。そんな子どもの様子を見てお母さんも幸せそうな笑顔になり、気持ちもほっこりとした様子だった。何かな?何かな? 絵の一部でも何の絵か直ぐに分かって「ぞうさん!」「にんじん!」子どもが大きな声でこたえると大当たり!! トマトの箱の変身「とまとんとん」は大盛り上がりだった。「お腹が空いちゃったからご飯をあげて」と、おーちゃんがひとりひとりの子どもの前に箱をもって座ると「どうぞ」というようにみんなが食べ物を入れてくれる。箱でなく動物に見えているのだ。そっくり返るように笑い転げたり、体が前のめりになっていく。参加者を巻き込みながらのワークを、全力で楽しんだ子どもたちは、おーちゃんと笑顔でハイタッチをして帰って行った。

保護者からの声

- ・アンケートからは、たのしかった全員 いやされた多数、時間はちょうどよかった 100%、また参加したい 100%
- ・家にあるもので遊べる。トマトの箱は真似してやってみたい。子どもとの遊び方を学んだ

施設関係者からの声

- ・最初と帰りの親子の表情が全然違って、楽しい時間だったことをもの語っている。
- ・子どもたちが常に笑顔で、楽しさが溢れていた。改めて親子の触れ合いの大切さを感じた。

(コーディネーター：中村雪江 白鳥みゆき)

実施施設：四街道市千代田幼稚園附属 ちよだっこルームもねの里
プログラム名：「なんだろな なんだろな？」



実施場所：ちよだっこルームもねの里保育室

実施日時：2023年 1月 21日（土） 10:15 ～ 11:00

参加者数：総数 24人

① 乳幼児 9人（2歳：7人 3才：2人）

② 大人 15人（保護者：9人（母6人 父3人） 保育士：5人 行政職員：1人）

スタッフ数：パフォーマー 1人（大森靖枝）

コーディネーター2人（椎名好子 棚田純子） スタッフ：柳野郁美 中村雪江

プログラム内容

トマトントン・くまトントン・赤ちゃんトントン ・おまつりの踊り *最後のごあいさつ *おーちゃんごあいさつ *みんなで手をつないで輪になってこんにちは *まねっこ 手をたたく たたかない *なんだろな なんだろな？ *リスとどんぐりのお話 *マヨネーズ空の笛でポッポーの音に合わせて電車ごっこ ♪チューリップ *郵便屋さん *うさぎとくまのお散歩あそび（♪おさんぽさんぽ 123）・うさぎとくまのかくれんぼ ・雨がふってきた

当日の様子

土曜日のワークで、父親が3人も参加した。入口から顔をのぞかせ、ピアノを吹きながらおーちゃんとひーちゃんがあいさつをすると、知っている先生が出てきたからだろう、子どもたちが床をたたいて喜んだ。なんだろな？なんだろな？隠れている物をあてっこゲーム「りんご！」「ぞうさん！」大きな子どもたちの声が出る。当たったら「やったー」はずれたら「ざんねーん」の振りもついてわあわあと大騒ぎに。真似っこでどんぐり拾って、お口にパクリ。最初から泣いていた子がこのリスのお話からピタリと泣き止み、パパにだっこされたまま、おーちゃんの方を向いて参加し始めた。マヨネーズチューブに水が入った手作り楽器でポッポーの音に合わせて電車ごっこ おーちゃんとひーちゃんの後から子どもたちが続く。いいね！マヨネーズチューブから出る音に、親の方が感心し、子どもたちは声をあげて喜んでいる

うさぎとくまのかくれんぼ「もーいいかい」おーちゃんが言うと「もういいよ」と子どもたち。パパの後ろにかくれたくまさんをみつけ！。トマトが入っていた箱の中に野菜を入れるトマトントンごっこ遊び、イチゴ、にんじんなど子どもたちが入れていく。お腹がいっぱいになったトマトントンが空に飛びあがる。トマトントンと先生方も参加してお祭りのように踊り賑わいで終了。

保護者からの声

- ・楽しい時間があっという間でした。
- ・今日はちょっとご機嫌が悪かったようなのでまた今度楽しみたい。

施設関係者からの声

- ・パパの参加が3人いたが、これを機会にお父さん同士が話をするきっかけになったようだ。子どもの素直な表現や愛着状態もよくわかっていた。芸術の力で心の中が出せる自由な表現を見守っていた。

行政からの声

- ・生で見ることで五感を刺激する。紙の袋の雨など身近な物で音を作りだしているのに感動した。生の経験を身体で感じることは、必要なこと。（コーディネーター 椎名好子 棚田純子）

支援力向上講座



川中美樹さん 「生きる力を育むわらべうた講座」 豊かな遊びわらべうた

講座の内容概要

- * 「お手玉って手取り足取りおしえないの、1年、2年かけて見て覚えていくの。0才、1才は見ているからお手玉をやって見せることでいいのよ」
- * 0歳からの3曲。おすすめ厳選3曲。『馬はどしどし』『てってのねずみ』『しおふりこぶり』
これを「いつ、どんなふうに、誰に、がとても大切なこと。子どもの育ち、身体の発達、発育、成長に合わせてそれぞれの意味がちあんとあるの」
- * 今日の講座の重点項目、わらべうたの持つ子どもの育ちに必要な事を話される。身体は抱っこされて唄に合わせて動くことで背中が伸び、やがて掴む様になる。自分で跳ぶようになり、自分の身体が自分のものになること。それが自立に向かう一歩となり、身体を育てる、心を育てる、言葉を育てるにつながることを丁寧に話された。
- * スクリーンにパワーポイントの登場で座学が行われる
 - ・ 遠野のわらべうたとコダーイのわらべうたの遊びの違いなども話されながら話は続く。
 - ・ 遠野の『うんこ語り』の話は地方によって言葉は『おっくー』であったり様々だが「あ〜お」の母音と子音の音をつかかって生まれて初めてのコミュニケーションをとるのは同じで、声を出したら「お返事したねー」と受ける言葉を返すことを若いお母さんたちに教えてあげることが必要と話される。
 - ・ 「5カ月になったら『てんこてんこ』で目で追うことへのアプローチをやりながら心の満足と自分の身体で遊ぶことを発達発育に合わせて『わらべうた』で遊んでね。次々と『てんちてんち』や『ちょっちょっ』が出来るようになるの。毎日同じことでいい、真似をたくさんすることが大事なのよ。」
 - ・ 出来るようになり得意げにやる『ばんざーい』が毎日の体調を表すことや『あぷぷー』などが口の周りの筋肉を着て離乳食の時の食べやすさや言葉を発するときの構音につながる事、おしりの力ともつながっている事も話されると、皆のびっくりしている顔が増える。
 - ・ 「階段を一つ一つ上る様な緻密さが日本のわらべうたのいいところで、その都度その都度丁寧に教えていくことがどんなことより子育てには大切と思っている。」という講師の言葉をしっかりと受け取っている雰囲気が会場を包んでいる。
 - ・ 支援者として大人として赤ちゃんに対して子どもに対して柔らかい声、言葉が柔らかい雰囲気をつくる事がとても大切と話される。ゆったり優しいことが、感じ取る力を育むことに必要なのですと。

🍷実施会場 認定こども園四街道さつき幼稚園
🍷実施日時 2022年 8月 26日(金) 13:00~ 15:00
🍷参加者数 10人(施設職員10人)
🍷コーディネーター: 椎名好子 棚田純子

🍷プログラム内容

お手玉あそび
保育士さんからのアンケートから「わらべうた」について経験を尋ねる
講師自己紹介 自分自身の子育てにふれて、わらべうたとの出会い
「わらべうた」の歴史 あそびの目的
お勧め3曲 人形を使って実践 (うまはどしどし、そうめん、しおぶりこぶり)
季節をうたう 身体の力を抜いてリラックス 「蛍こい」をうたう

🍷当日の様子

- ・お手玉あそびに苦戦する、経験のないお手玉あそびもあって 一生懸命頑張る姿がみられました
- ・「わらべうた」をどの程度やっているかに、「めっちゃやっている」に1人だけ手を挙げながら「えーっ」と声が上がり笑いがおきた。
- ・熱心にメモをとったり、大きくうなずきながら聞き入っていました
- ・川中さん自身の子育ての話に共感して、日々の保育で起こっているのか、みんなうなずいていました。
- ・子どもの集団で育ってきたひと？の質問に ほとんどの方の手が挙がり、川中さんもびっくり、とても今、めずらしいそうです。
- ・体の力を抜いてリラックスする体操はとても上手。あおむけになりお腹をぶるぶる、うつぶせでハミングあぐらをかいて、夏の季節の「ほ ほ ほたるこい」はとてもやさしく、心地良さがひろがりました。
- ・最後に保育士さん達から「カノン」のうたがプレゼントされました。柔らかくて優しく体が溶けていきそんな歌声でした。拍手!!
- ・終わってからも、本を購入したり、スカーフや楽器を試したり、質問がでてちょっとしたディスカッションになりました。時間がたりなかったです。

🍷実施施設 佐倉市南部児童センター 市内5館合同で
🍷実施日時 2022年10月 24日(月) 10:00~12:00
🍷参加者数 41人(市内5館の保育士・インストラクター36人 行政:3人 地域:NPO 佐倉子どもステーション2人) 🍷コーディネーター: 滝口淳子 中村雪江

🍷プログラム内容

お手玉あそび おすすめ三選人形を使って実践 【1~2歳】 ①うまはどしどし ②てってのねずみ ③しおぶりこぶり 【0歳】 ①おっくーん ②てんこてんこ ③じーかいてぼん
座学:「わらべうた」の歴史 あそびの目的
季節をうたう 身体の力を抜いてリラックス 『お月さまとうさぎ』のシアター

🍷当日の様子

参加者はお手玉を2個ずつ持ち「日本各地のお手玉唄は口承伝承なの」という講師の川中さんの話を聞きながら、「じゃこじゃこ…♪」「一つぶつけて…♪」とお手玉唄を口ずさみながらお手玉にチャレンジ。これがなかなか難しい。「わらべうた、大好き？」の質問に手を上げたのは2人。詳しくはよくわからないが大半を占める。『てってのねずみ』は必ず両手やってね」「成長してくるとこっちもやってと言う様に意志を表現する様になるの。反対の手を出してくるの、自分で言うこと、そして待つことに繋がるのよ。両方やるのは大切な事」なるほどとそういうことかと顔がたくさん見うけられる。『馬はどしどし』なんかのゆすりあそびは1才半以上からなんだけど、いい具合に遊ぶのがなかなか難しいの。人生50年時代の1歳児と100年時代の1歳児とでは体が違う。今の子は背骨がゆるいの」この言葉にも反応しぐっと聞き入る。「そーっとね、そーっとやるの」に数人が頷き、数人はちょっと驚く表情。『しおぶりこぶり』の時のポチャって子ども落とす時も最初はそっとやるのよ」年令での赤ちゃん子どもの支え方の違い、乗せた膝の動きの違い、実に丁寧に語られ、聴いている受講者も人形を膝に乗せて考えながら動いている。丁寧にわらべうたの持つ意味を実践しながら伝えられていく。何種類もの0歳の為のわらべうたは本で学ぶのより何倍もの実践力に直結していくことや、育ちへの意味付けをされることが、大きい。まず親が大人がやってみることが大切。



納富さんからのメッセージ

- ・子どもに伝わりやすくするためのコツは「ゆっくりしゃべる」「目を見ながら」
- ・子どもをほめてあげる人がいっぱいいるのはいいこと。子どもが自分を好きになる。
- ・方言は文化。その土地が好きになる。どんどん使うといいと思う。
- ・みなさん、いっぱい失敗するもいい。子どもに教えてあげられる。先生が楽しくしていると子どもも楽しくなります。
- ・人を笑顔にするためには、まず自分が笑顔になりましょう。人形劇は、いつも子ども、大人、親子のそばにいる皆さんが、豊かになるものです。
- ・自分たちの文化、自尊感情、自分たちの言葉で、自分たちのいいものを語り、褒め合ったりたたえ合ったりしよう。

👤 実施会場 市川市八幡親子つどいの広場

👤 実施日時 2022年 10月4日(火) 16:15~18:15

👤 大人の参加数 10人(施設職員 8人 行政 2人)

コーディネーター：買場都明 宇野京子 スタッフ：中村雪江

👤 プログラム内容

①スーパー人形劇(オオカミ、ブタ君、赤ずきんちゃん、おばあさん…変身ポンタ君、封筒のカエル君、カミレオン、うさぎ君…etc. 約20分)②「大阪うまいもの歌」人形劇 約30分③人形作り 約20分④グループで替え歌を作り発表 約10分⑤交流

👤 当日の様子

こういう研修が初めての方も半数以上いて、始めは固さや、仕事の疲れからの無言や緊張感、大人の反動的な感じだった。が、スーパー人形劇が始まると、すぐにくすくす笑いが広がる。軽妙でテンポ良い、身近な素材の人形劇は、研修として構えていた参加者の気持ちを一瞬に崩し、あそびはなんでもあり、あそびの主役は自分自身といった、感覚が体に広がり、笑いを引き出した。

- ・「大阪うまいもの歌」はころりん座かわむらかず子さん作。長谷川義史さんの絵本になった。人形の首は柔らかいスポンジを染めている。伸びや曲がり方などしなやかな動きに対応できる。作り方の説明で納富さんは「みます。まだやりませんよ。」と声色も変えたりユーモアたっぷり、皆の集中力を高める。はさみの使い方、入れ方、人形作りのうまくいくいかないを左右する大切なポイントが満載だった。
- ・参加者が持ち帰って説明できるようわかりやすい説明。参加者もどんどん引き込まれ、もっと自分らしいものにと、気持ちも高まり奮起。あっという間に夢中で作る時間になった。ふと気が付くと、たのしいー、おもしろーい、すごいね、あーそれいいね、とほめたりたたえ合う言葉が飛び交っていた。
- ・工作が苦手な人も、手順良い説明のおかげで、ボンドの扱いや接着がうまくいき、私でもできた！と自信をもったようで嬉しそうに話していた。
- ・ウレタン人形の顔が一人一人違うと同時に、どことなく製作者と似ていることをお互いが発見して、似てるねえ！と笑い合う。個性豊かな作品に皆驚き。
- ・発表…4人1組、と行政2人、県センター3人チーム。自分たちの活動のアピール内容を替え歌に。はじめ内容だがどこかユーモラスな人形の動きと、一生懸命な歌声がマッチして、見ごたえある作品に。何が出てくるのかと、他チームをワクワク待つ、見る体験。

- 🍷 実施施設 八千代市子ども支援センター すてっぷ21 大和田
- 🍷 実施会場 八千代市民会館 第5会議室
- 🍷 実施日時 2022年 10月6日(木) 15:00 ~ 17:00
- 🍷 大人の参加数 14人(保育士13人 行政から部長1人)
コーディネーター 綿貫のばら 棚田純子 スタッフ: 中村雪江

🍷 プログラム内容

- ・スーパー人形劇 ・ウレタンロボット人形 ・人形を使って 「大阪うまいもん」遊び

🍷 当日の様子

- ・「はじめに人形劇をします」と講師が言うと鞆からレジ袋が出てきた。何が始まるかと参加者の目がレジ袋に釘付けになる。なんの変哲もないいつものレジ袋がネコ、ウサギ、キツネ、オオカミ、最後は赤ずきんちゃんに変身していく様に「えっ!〜」と驚きとおかしさに笑顔が出る。
- ・新しい作品、ピンポン玉でつくったウレタンひよこ人形。頭にくりぬいたピンポン玉をのせてかわいい目で参加者を見ると、思わず笑い声が出た。「どうやって作るの?」と隣同士で話している。
- ・自分だけのウレタン人形を作る。講師から接着剤の使い方や、どこでも安価に手に入る材料であることを聞くと感心する。自分たちでも作れそうと話しが弾む。人形の口にはさみを入れるときは緊張気味。できあがった人形は個性が出ている。
(発表タイムの様子)
- ・「八千代うまいもん」遊びを4つのグループで相談し発表した。いいところ探しをそれぞれのグループで話し合い、自作のウレタンロボットを持ち「いいとこ」「おいしいとこ」「すてきな仲間」などの視点でそれぞれ違った発表となった。

- 🍷 実施会場 社会福祉法人大きな家族 いろは保育園
- 🍷 実施日時 2022年10月7日(金) 18:30~20:30
- 🍷 大人の参加数 33人(施設職員32人 荒牧光子さん)
コーディネーター 大森智恵子 大塚るい スタッフ: 笠原直子

🍷 プログラム内容

園児用のテーブル一つに3~4人ずつ8グループに分かれて座るようにした。

- 1 実演…①スーパー人形劇 トランクからスーパーのレジ袋を取り出してスーパー人形劇や紙封筒のカエルやウサギの人形劇。 ②「大阪のうまいもんの歌」の人形劇…始まる直前に納富さんが指導し練習した保育士4人が披露。
- 2 紙コップびよ〜ん人形の材料を選んだら納富さんが作り方を説明。グループ(3、4人ずつ8グループ)ごとに分かれ人形作り。
- 3 見本としてもう一回、先ほどの保育士4人による「大阪のうまいもんの歌」人形劇披露。
- 4 グループ発表 替え歌を作り練習し8グループが発表。

🍷 当日の様子

- ・すごくノリがよい。笑い声がたえない。納富さんの呼びかけにも返事もはっきり、反応もはやい。芸に感心したり拍手したり。応援してねと言われたら「がんばれ!」とみんなで万歳していた。
- ・作り方のところでは、納富さんが丁寧に材料や道具について話すと集中して聞き、メモをとっていた。
- ・材料選びも楽しそうだ。
- ・作り方では、お互いの人形を見たり相談したり自分の人形を仕上げていった。わからないことは納富さんにどんどんきいていた。「いいね!」「のっているね!」「おかしい!」「スイッチが入ったね!」「止まらないね!」と笑い声が聞こえた。
- ・作っている段階で既に、歌を「オモチャのチャチャチャ」に変えて人形が踊っているグループあり。笑いの輪がひろがっていった。
- ・グループごとの練習の時、午前の「にこにこげきじょう」で納富さんからもらったウレタン人形を加えた劇をやっているグループもあった。
- ・チームワークがよい。みなさん、それぞれ楽しそうに生き生きと発表。三連休にしたいことのうた、パンの歌、フランス人形のうた、いろはと小倉保育園のうた 千葉のいいところ紹介のうた、など。

「0～2歳児と親の笑顔・支援力を豊かに推進するネットワーク強化」事業
実績報告書

発行日：2023年 3月 24日（金）

発行者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6
サンコート新千葉 102号
TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263
E-mail：kidchiba@lily.ocn.ne.jp

この報告書の内容を無断で引用・転載することはかたくお断りいたします



令和4年度社会福祉振興助成事業

主催：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102 号

TEL:043-301-7262 FAX: 043-301-7263

E-Mail: kidchiba@lily.ocn.ne.jp <https://chiba.gekijou.org/>